

東京放射線

Tokyo Association of Radiological Technologists

2022年
6月号

Vol.69 No.806

総会特集号

巻頭言

診療放射線技師職の将来を想う願う 白木 尚

告 示

2022・2023年度役員選挙について

会 告

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会

第136回日暮里塾ワンコインセミナー

2021年度学術奨励賞・新人奨励賞

お知らせ

2022年度第1地区研修会

総会資料

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会資料

報 告 • 2022年度事業計画

報 告 • 2022年度予算

第1号議案 • 2021年度事業報告（案）

第2号議案 • 2021年度決算報告（案）

• 2021年度監査報告

第3号議案 • 名誉会員推戴の件

第4号議案 • 2022・2023年度役員選挙

研修会等申込書

登録事項変更届



公益社団法人東京都診療放射線技師会
<https://www.tart.jp/>

目 次

スローガン

チーム医療を推進し、

国民及び世界に貢献する
診療放射線技師の育成

診療放射線技師業務標準化宣言	2
巻頭言 診療放射線技師職の将来を想う願う	副会長 白木 尚 3
告示1 2022・2023年度役員選挙について	4
会告1 公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会	5
会告2 第136回日暮里塾ワントインセミナー	学術委員会 6
会告3 第137回日暮里塾ワントインセミナー	学術委員会 7
会告4 2021年度学術奨励賞・新人奨励賞	8
お知らせ1 2022年度第1地区研修会	第1地区委員会 9
お知らせ2 東放技会員所属地区のご案内	情報委員会 10
公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会資料	
報 告 ・2022年度事業計画	11
I. 総括	
II. 定款に基づく本会の事業	
III. 委員会事業計画	
報 告 ・2022年度予算	24
第1号議案 ・2021年度事業報告（案）	26
I. 総括	
II. 事業報告	
III. 活動報告	
IV. 活動報告（庶務概要）	
第2号議案 ・2021年度決算報告（案）	41
・2021年度監査報告	50
第3号議案 ・名誉会員推戴の件	51
第4号議案 ・2022・2023年度役員選挙	51
パイプライン	
・日本診療放射線技師連盟ニュース（2022 No.4）	52
・2022年度関東甲信越診療放射線技師学術大会	53
2022年4月期会員動向	54
2021年度第13回理事会報告	55
2022年度第1回理事会報告	62
研修会等申込書	66
登録事項変更届	67
<hr/> Column & Information	
・学術講演会・研修会等の開催予定	54

診療放射線技師 業務標準化宣言

いま我が国では「安心で安全な医療の提供」が国民から求められている。そして厚生医療の基本である「医療の質の向上」に向けて全ての医療職種が参加し、恒常的に活動をする必要がある。

私達が携わる放射線技術及び医用画像技術を含む診療放射線技師業務全般についても、国民から信頼される普遍的な安全技術を用いて、公開しなくてはならない。そして近年、グローバルスタンダードの潮流として、EBM (Evidence Based Medicine)、インフォームドコンセント、リスクマネジメント、医療文化の醸成、地球環境保全なども重要な社会的要項となっている。

公益社団法人東京都診療放射線技師会では、『国民から信頼され選ばれる医療』の一員を目指し、診療放射線技師の役割を明確にするとともに、各種業務の標準化システム構築を宣言する。

診療放射線技師業務標準化には以下の項目が含まれるものとする。

1. ペイシェントケア
2. 技術、知識の利用
3. 被ばく管理（最適化／低減）
4. 品質管理
5. 機器管理（始終業点検／保守／メンテナンス）
6. 個人情報管理（守秘／保護／保管）
7. 教育（日常教育／訓練／生涯教育）
8. リスクマネジメント
 - ～患者識別
 - ～事故防止
 - ～感染防止
 - ～災害時対応
9. 環境マネジメント（地球環境保全）
10. 評価システムの構築

公益社団法人東京都診療放射線技師会

卷頭言



診療放射線技師職の将来を想う願う

副会長 白木 尚

2022年6月18日に開催される本会第73回定期総会（役員改選総会）をもって理事職を全うすることとなります。副会長職は10年務めさせていただきました。ご支援とご協力いただきありがとうございました。

最終回は巻頭言で再度お伝えしたいことを申し上げます（稚拙な巻頭言でしたが、全て想いはありますが苦手でした）。

「会員のメリット」では、『入会してもメリットがないという声をよく耳にします。メリットはたくさんあります。有形のメリットは、JART企画も含めて、研修会等が安価で受講できること。個人的には無形のメリットが大きいです。自施設から外に出て他施設の技師の方々との交流を持つことで、さまざまな生の情報が得られるし、客観的に自施設を見直すこともできます。情報は個人で収集することはできても、スイッチひとつで消えない人間関係を作つて、相談・議論する方が数倍も有用です。電話やメール、時には会つていろいろなことを相談できる仲間がたくさんできました。友達が友達を呼んでくれるという感じです。一生の友人ができたことは、私の人生にとってかけがえのない宝で技師会に感謝感謝です。年会費とは比べられません。また、学術大会開催等みんなで協力しながら進めていくことで、共に喜びを分かち合う仲間がいる。これが技師会の最大の魅力ではないでしょうか。技師会活動は、「技師会はひとりのため、ひとりは技師会のため」をモットーに進めていきたいです。皆さまのご協力なしには進んでいきません。是非とも同じ目標に向かって診療放射線職種の明るい将来を創っていきましょう。』 *ラグビー自己犠牲の精神 “One for All, All for One”（個人はチーム全体の為に自己犠牲をし、チームは一丸となって個人をサポートして一つの目標を達成する）は、小職の座右の銘としている大切な言葉で、2015年ラグビーW杯での奇跡の南アフリカ戦以来キャッチフレーズとして引用させていただいております。

「職能団体は職種を守る」では、『“職能団体とは、法律や医療などの専門的資格を持つ専門職従事者らが、自己の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための組織である。同時に、研究発表会、講演会、親睦会の開催や、会報、広報誌などの発行を通して、会員同士の交流などの役目も果たす機関でもある。”（ウイキペディアより）その中で特に「自己の専門性の維持・向上や、専門職としての待遇や利益を保持・改善するための行動」については、法制化されることが大きな目標で、その成果が将来の診療放射線技師職の地位の向上などにつながります。診療放射線技師職唯一の職能団体であるJARTが国政（厚労省等）に要望し説明し続け、数年かけて業務範囲の拡大等技師法の一部改定が施行され、診療放射線技師の地位の向上に大きく前進したことはご承知の通りです。』

昨今では、厚労省が推進している医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアにより、医療関係職種が各々業務範囲の拡大に取り組んでいます。業務範囲の拡大は職種の地位の向上にもつながりますし、独占業務を守ることも必須です。その中で、本会会員でもあります畠元将吾衆議院議員の存在はとても大きく、1期目の2年で国会議員の先生方への診療放射線技師職の認知度は大きく向上しました。自民党友好団体表彰として診療放射線技師連盟の名前もスクリーンで発表されたそうです。当然、関係省庁への連携も強く改善されました。現在再選を果たし2期目を精力的に活動される中、畠元議員所属の自民党の中に「国民に最善の医療を届けるために診療放射線技師を支援する議員連盟」が設立されました。今後の診療放射線技師職の待遇改善等（すでにJARTで計画されている）に対して、大きな推進力となります。私見ですが本会においても診療放射線技師職の地位向上は願いであり、診療放射線技師連盟への協力をていきたいと思っております。

最後に “One for All, All for One” の思いで力を合わせて職種の発展を祈念するとともに、微力ながら輝かしい診療放射線技師職の未来へ和と輪をつなげて、育てていただいた技師会や技師仲間の皆さんへ恩返しをしていただけたら幸いです。

告 示

公益社団法人東京都診療放射線技師会 2022・2023年度役員選挙について

2022年5月1日

公益社団法人東京都診療放射線技師会
選挙管理委員会 委員長 島田 勇佑

2022・2023年度の公益社団法人東京都診療放射線技師会 役員選挙立候補者について、2022年3月1日付にて告示し、2022年3月31日立候補締め切りとした。

結果、次の立候補があつたので審査し受理した。

理 事 候補者 (18名)

麻生 智彦 国立がん研究センター中央病院 【会長立候補者】
浅沼 雅康 東京女子医科大学病院
市川 篤志 日本大学医学部附属板橋病院
宇津野 俊充 国立がん研究センター中央病院
江田 哲男 東京都済生会中央病院
小林 隆幸 北里大学北里研究所病院
鮎川 幸司 公立福生病院
鈴木 雄一 東京大学医学部附属病院
関 真一 立正佼成会附属佼成病院
関谷 薫 三郷中央総合病院
高野 修彰 東京通信病院
竹安 直行 日本赤十字社医療センター
布川 嘉信 慶應義塾大学病院
野口 幸作 東京臨海病院
長谷川 雅一 慶應義塾大学病院
原子 満 帝京大学医学部附属溝口病院
増田 祥代 三井記念病院
渡辺 靖志 みたかクリニック

監 事 候補者 (2名)

白木 尚 練馬光が丘病院
野田 扇三郎 野田税理士事務所
* 野田 扇三郎は、定款第26条により会員外監事としての立候補である。

* 投開票は、2022年6月18日（土）の第73回定期総会にて行う。

会 告

1

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会

公益社団法人東京都診療放射線技師会定款及び規程に則り、下記のように定期総会を開催致します。

記

日 時：2022年6月18日（土）15時00分～
会 場：東京都診療放射線技師会研修センター
東京都荒川区西日暮里2-22-1 ステーションプラザタワー505号
ア クセス：JR日暮里駅北口改札 東口方面より徒歩3分

総会次第

報 告：2022年度事業計画
I. 総括
II. 定款に基づく本会の事業
III. 委員会事業計画
報 告：2022年度予算
第1号議案：2021年度事業報告（案）
I. 総括
II. 事業報告
III. 活動報告
IV. 活動報告（庶務概要）
第2号議案：2021年度決算報告（案）
：2021年度監査報告
第3号議案：名誉会員推戴の件
第4号議案：2022・2023年度役員選挙

*新型コロナウイルス感染拡大の状況をふまえ総会の開催方法について検討を重ね、このたび理事会にて書面表決による開催が決定致しました。
代議員の皆さんにつきましてはご理解いただき、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会
会長 篠原 健一

会 告

2

第136回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ「骨密度検査の基礎知識と最新情報」

講師：東洋メディック株式会社 営業本部 大越 陽介 氏

第136回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

今回のテーマは骨密度検査です。基礎的な内容から最新情報まで多岐にわたり解説していただきます。

臨床に沿った内容、保険点数についても分かりやすく講義していただきます。

多くの皆さんと共有できればと思います。よろしくお願ひ致します。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年6月7日（火）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：30名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

第137回日暮里塾ワンコインセミナー テーマ「インジェクターの安全使用について ～医療安全について考える～」

講師：株式会社根本杏林堂 営業本部 植村 聰 氏

第137回日暮里塾ワンコインセミナーもWeb開催と致します。

放射線に関する医療安全については各施設行なわれているとは思います。今回は、インジェクターの管理点検について講義をしていただきます。いつ起こるか分からぬ故障などをあらかじめ予見するためにも日常の安全管理は大切です。臨床、タスクシフトなども含め、多方面から分かりやすく解説していただきます。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年7月14日（木）19時00分～19時40分

受 講 料：無 料

申込方法：東放技ホームページ (<https://www.tart.jp/>) の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

※参加者にはパスワードを返信致します。

定 員：50名（定員になり次第、終了させていただきます）

カウント付与：日本診療放射線技師会学術研修0.5カウント付与

問い合わせ：学術委員長 市川篤志 E-Mail：gakujitu@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

会 告

4

2021年度学術奨励賞

演題名 「自由呼吸下における腹壁と肺腫瘍の動きの相関について」

施設名 日本大学医学部附属板橋病院

発表者 比内 聖紀

2021年度新人奨励賞

演題名 「単純XP・CT・MRI検査における四肢ポジショニングとオリエンテーションマーク
ならびに画像表示のピットフォール」

施設名 順天堂大学医学部附属順天堂医院

発表者 矢口 駿

演題名 「肘関節CT検査における上肢拳上撮影時の水晶体被ばく線量評価」

施設名 NTT東日本関東病院

発表者 一ツ木 康晶

2022年度 第1地区研修会 テーマ「線量管理の各施設の現状」

講 師：埼玉県済生会川口総合病院 城處 洋輔 氏

2019年医療法施行規則の一部が改正され、2020年4月1日より被ばく線量の管理及び記録が義務化されました。多くのご施設で被ばく線量の管理・記録を行っていると思います。

そこで第1地区では、線量管理システムを導入し運用されている埼玉県済生会川口総合病院 城處洋輔氏を講師に迎え、自施設での現状、さらに管理・記録されたデータの運用方法などお話しいただくこととなりました。ご興味のある方はぜひご参加ください。

オンラインは、Zoomの利用となります。セキュリティ対策としてパスワードを設置するなどして対策を講じます。不正利用などのリスクを回避するために、Zoom最新バージョンをダウンロードの上、ご参加ください。参加人数に上限がありますので早めにお申し込みください。

本セミナーの映像、配布資料などの録音、録画（キャプチャを含む）、再配布は禁止と致します。

記

日 時：2022年6月23日（木）19時00分～20時30分

開催方法：Web開催（Zoom）

受講料：無料

申込方法：東放技ホームページ（<https://www.tart.jp/>）の参加申し込みフォームからお申し込みください。または会誌の研修会等申し込み用紙にて事務所にFAXでお申し込みください。

定員：50名

問い合わせ：第1地区委員長 増田祥代 E-Mail：area01@tart.jp

公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所 TEL・FAX：03-3806-7724

以上

お知らせ 2

あなたはご自分の所属地区をご存じですか？

東京都診療放射線技師会は、東京を13の地区に分け、東京に隣接する千葉方面・神奈川方面・埼玉方面を加えた計16地区で構成されています。

本会ホームページ <https://www.tart.jp/> には各地区の表が掲載されています。

“当会の概要”から“支部・地区一覧表”をお選びください。



RR 公益社団法人
東京都診療放射線技師会

一般の方へ 当会の概要 入会案内・各種手続き 研修会・イベント情報 求人情報

お問い合わせ

HOME > 当会の概要 > 支部・地区一覧表

支部・地区一覧表

東京都診療放射線技師会では、東京を13の地区に分け、東京に隣接する神奈川・千葉・埼玉を加えた計16地区で構成し、技師会をより多くの診療放射線技師の皆さんに、また一般の方に「診療放射線技師」を知っていただこうと日々活動をしています。

各地区紹介ページ

城東支部	第1地区	千代田区	地区紹介
	第2地区	中央区、台東区	地区紹介
	第7地区	墨田区、江戸川区、江東区	地区紹介

地区紹介PDF

また、“地区紹介PDF”では各地区の特色や活動を写真入りで紹介しています。
こちらもぜひご覧ください。

情報委員会

公益社団法人東京都診療放射線技師会 第73回定期総会資料

2022年度事業計画

I. 総括

厚生労働省の医師の働き方改革に関する検討会報告書において、2024年4月から勤務医の時間外労働上限を原則年960時間以下とすることが示されている。これを踏まえてタスク・シフト／シェアを推進するために、診療放射線技師法の改正が含まれた「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が昨年5月28日に公布となり、10月1日施行となった。これによる業務拡大において、現行制度上で実施できない行為については、法令が改正されれば養成課程において必要な教育内容を追加するとともに、既に国家資格を取得済みの方々においては、厚生労働大臣が指定する告示研修を受講することが義務付けられた。これについては、従来の統一講習会とともに、日本診療放射線技師会と協力しながら事業を推進する。

われわれは国民の信頼にこたえ、医療と公衆衛生の向上、更には医療安全の確保に寄与すべく今年度も「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」をスローガンとして各種事業を展開していく。そして、高性能化・多様化する医療機器、高度化する医療技術を学ぶ機会を供するとともに、エビデンスに基づいた医療技術を発展・普及させていかなければならない。診療放射線学の発展に寄与すると共に生涯教育・専門教育・各種認定・業務範囲の拡大に伴う研修など、公益社団法人日本診療放射線技師会をはじめとした関連団体と適切に連携・協力しながら推進していく所存である。また、被ばく相談、各種検査受診の啓発や不安解消、骨密度測定、マンモ触診体験、ピンクリボン運動への参加など、都民の中に入していく公益事業も引き続き推進する。災害対応への意識を風化させないために、防災・減災・緊急被ばく医療・BCP（事業継続計画）などもSR推進委員会を中心に活動していく。

われわれが推進する事業は、公益社団法人として、次の要件が問われる。

- ①「公益社団法人及び公益財団法人認定等に関する法律」別表に掲げられた学術、技芸、慈善その他の公益に関する23の事業に該当するか。
- ②受益機会が一般公開されているか。
- ③特定の者に対する利益供与になつていいいか。
- ④公正な運営がなされているか。
- ⑤社会的存在として広く認識されるような事業規模に達しているか。

前年度、前々年度は新型コロナウイルス感染症対策のため、多くの事業、会議などがweb開催や一部対面及び一部webのハイブリッド対応を余儀なくされた。結果として本来使われるべき予算が未達となり、監督官庁（東京都生活文化局）より「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に定める法律認定基準に係る照会」があり、認定法第5条に定める公益認定の基準のうち、第9号の基準「遊休財産額の保有の制限」を満たさなかつた法人及び同条第6号の基準「収支相償」を2か年以上連続して満たさなかつた法人とみなされ、余剰金の解消計画を提出することとなった。このことについて、webによる各種会議、セミナーなどの利便性と安定性を担保するための設備投資も含め、公益目的事業の規模拡大、新たな公益目的事業、公益目的保有財産の取得、資産取得資金の積立など積極的かつ有効活用を推進したい。地区・支部の活性化にも大いに貢献できるよう取り組む所存である。

役員、会員各位には、一層のご支援と積極的な会務への参画をお願いする次第である。

II. 定款に基づく本会の事業

(目的)

この法人は、診療放射線学の向上発展と放射線障害の防止に関する事業を推進するとともに、東京都における診療放射線技師の職業倫理を高揚することにより、放射線検査・治療技術の質の確保と都民の健康および医療、ならびに保健の質の維持発展に寄与することを目的とする。

(事業)

この法人は、前項の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業
- (2) 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業
- (3) 放射線関連機器の安全管理を推進する事業
- (4) 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進
- (5) 前各号の主旨を目的とした学術誌の刊行
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1. 診療放射線学の向上のための学術及び科学技術の振興、並びに調査研究を目的とする事業、及び放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で知識の啓発普及を行います。また診療放射線技師においては、職業倫理を高揚し保健の質の維持発展および公衆衛生の向上に寄与します。この事業を通して、放射線災害や放射線事故に備えて、会員および広く診療放射線技師に対して緊急事態時における放射線測定や放射能除去の訓練を常日ごろより行うとともに、東京都民に対する啓発や知識の普及を行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ペイシエントケア学術大会

開催時期：5月

開催場所：日暮里サニーホールまたは東京都内のイベントホールなど

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

後 援：東京都および開催場所の市または区

実施内容：ペイシエントケアをテーマに患者医療に関する公開講演会およびシンポジウムを実施します。

2) サマーセミナー

開催時期：8月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

3) ウィンターセミナー

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：最新の診療放射線機器の情報提供を機器メーカー側とユーザーである会員側から、それぞれの立場で講演を行います。また放射線災害や放射線事故に備えて、緊急事態時における放射線測定や放射能除去の方法を実習など取り入れながら行います。

4) メディカルマネジメント研修会

開催時期：1月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ医療職の管理職を対象に危機管理や経営学をはじめ、各業界から専門家を招いて研修を行います。

5) 合同学術講演会

開催時期：10月

開催場所：東京都内のイベントホールまたは大学病院の講堂など

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部

実施内容：東京都内の診療放射線技師が所属する2団体での合同企画であり、講師に診療放射線技師はもとより、医師、看護師をはじめとしたメディカルスタッフ分野の専門家、および有識者を招きます。

6) 日暮里塾ワンコインセミナー

開催回数：年間15回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設やweb

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

7) 支部研修会

開催回数：年間5回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設やweb

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各支部

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

8) 地区研修会

開催回数：年間16回程度（不定期開催）

開催場所：東京都診療放射線技師会研修センターまたは大学病院などの研修施設やweb

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会 各地区

実施内容：診療放射線技師をはじめ、医療職や一般も対象に、放射線技術や患者接遇などに関する研修を行っています。入場制限はありませんが、会場整理費を徴収しています。

参加人数：約50人

9) 診療放射線技師の民間の給与、放射線医療に関する実態調査および各種研修会および講演会にてアンケートを実施し、その動向を調査し、今後の活動に生かす情報取得に努めます。これらの情報は、学術誌やホームページを通じて公表します。

2. 放射線医療及び放射線障害防止に関する啓発普及事業

東京都民を対象に下記の事業にて放射線医療および放射線障害防止の知識の啓発普及を行います。それぞれのイベントでは展示ブースなどを設置し、写真やパネルの展示、パンフレットおよび本会学術誌の配布を行います。また一般参加者からの医療被ばく相談や放射線に関する質問に対しては、会員が応対し、無料で適切なアドバイスを行います。これらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表します。

1) ピンクリボンウォーク2022

開催時期：4月

開催場所：お台場

主 催：認定NPO法人乳房健康研究会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

2) 看護フェスタ2022

開催時期：5月

開催場所：新宿駅西口広場イベントコーナー

主 催：公益社団法人東京都看護協会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

3) 中央区健康福祉まつり2022

開催時期：10月

開催場所：中央区保健所

主 催：中央区健康福祉まつり実行委員会、中央区、中央区社会福祉協議会

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、放射線クイズ、パンフレット配布、学術誌配布

4) OTAふれあいフェスタ2022

開催時期：11月

開催場所：ボートレース平和島

主 催：OTAふれあいフェスタ実行委員会、大田区

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、骨密度測定、パンフレット配布、学術誌配布

5) 第37回東村山市民健康のつどい

開催時期：11月

開催場所：東村山市いきいきプラザ

主 催：市民健康のつどい実行委員会、東村山市

実施内容：放射線検査Q&A、医療被ばく相談、模擬乳房の乳がん触知体験、パンフレット配布、学術誌配布

6) 放射線検査や医療被ばくに関する相談への対応

ホームページを利用して一般の方からの放射線検査や医療被ばくに関する質問に適切にアドバイスを行います。

7) その他

東京都診療放射線技師会の主催で都民講演会やレントゲン週間イベントの単独開催を計画中。

3. 放射線関連機器の安全管理を推進する事業

東京都民、本会会員、診療放射線技師および医療従事者を対象に下記の事業で放射線関連機器の安全管理の推進を行います。またこれらの広報は、本会学術誌やホームページを通じて公表し、各種セミナーにて、放射線関連機器の安全管理に関する知識の普及を行います。

4. 医療、公衆衛生に関する関連機関団体との連携協調の促進

- 1) 東京都福祉保健局医療政策部と連携を図り、医療従事者ネットワークに参加する医療専門職関連団体との連携を強化し、医療におけるさまざまな諸問題について協議を行い、改善を図ります。
- 2) 公益社団法人日本診療放射線技師会の生涯教育セミナー、臨床実習指導教員、放射線機器管理士および放射線管理士講習会などの事業に協力します。関東甲信越診療放射線技師学術大会を共催し、関東甲信越地域の放射線技師会との連携を図ります。
- 3) 放射線関連団体、医療関連機関、医療関連職能団体との交流を促進します。
- 4) 東京都内の診療放射線技師を養成する大学などと連携し、本会刊行物の無料配布を通じて診療放射線技師が果たす医療の役割を理解していただく啓発活動を行います。

5. 前各項目の主旨を目的とした学術誌の刊行

1) 学術誌「東京放射線」の刊行。

「東京放射線」を発行し、会員に配布するとともに国立国会図書館、医療関連機関、全国の放射線技師会および診療放射線技師を養成する大学などに寄贈します。またイベントの展示ブースにて、都民をはじめ一般の方に広く配布します。

2) 本会の活動に関する図書の刊行。

診療放射線技師および放射線医療に役立つ学術資料を刊行します。

6. その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

1) 診療放射線技師の生涯教育を行います。

診療放射線技師のエキスパートにより、少人数制で専門的で高度な技術を習得し、診療放射線技師の生涯教育の目的で行います。またフレッシャーズセミナー、各種基礎技術講習、業務拡大に伴う統一講習会など、公益社団法人日本診療放射線技師会との共催として開催し、技師としての礎を築くことができるようになります。これらを通じて入会促進に努めます。

2) 専門技術および資格の取得に向けた講習会を行います。

他団体と連携を図り、専門技術のさらなる習得と認定技師制度に基づく取得を目的に、きめこまかな生涯教育、MRI集中講習会を開催します。

3) 本会は、定款諸規程および内規に則って運営を行います。この定款諸規程を現状の組織運営に適した修正作業を行います。

4) 組織の活性化、新卒者などの入会促進のための活動を行います。更に雇用の促進と確保に努めます。

5) 会員の中から、叙勲、厚生労働大臣表彰、東京都知事表彰、医療功労者表彰などへの申請を行います。また本会における規定の表彰を行います。

6) 地球環境保全活動の推進のため、地域の清掃活動などに参加します。また禁煙運動を促進し、健康の普及を推進します。

III. 委員会事業計画

2022年度の各委員会の事業計画が次のように企画されています。会員の皆さまのご協力お願いします。なお、日時および詳細につきましては当該委員長にお問い合わせください。

1. 専門部委員会

総務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年6回開催する。
- ・総会の準備を行う。
- ・理事会の準備を行う。
- ・中間監査の準備を行う。
- ・期末監査の準備を行う。
- ・新春のつどいの準備を行う。
- ・役員研修会の準備を行う。
- ・役員選挙の準備を行う。

庶務委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年4回開催する。(不定期)
- ・会員データベースの再構築を目的に、会員一人ひとりの調査を行う。
- ・委員長と委員との情報の共有化に努める。
- ・会員動向の調査を行い、会員維持の方策を検討する。

編集委員会

- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2～3週にて会誌の再校・企画)
- ・新連載などの企画検討。
- ・過去の写真データの電子化ならびに管理システムの構築。
- ・会誌進呈先の再検討。
- ・研修会や各種イベントなどへの取材及び会誌への掲載方法の検討。(活性化促進)
- ・web開催による講演会や研修会の印象記掲載の検討。
- ・電子媒体による会誌等校正の検討。

学術委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。(毎月第2水曜日開催予定)
- ・日暮里塾ワシコインセミナーを15回開催する。(毎月1～2回)
- ・きめこまかな生涯教育を2回開催する。(2022年6月、2022年10月)
- ・サマーセミナー、ウインターセミナーを各1回開催する。(2022年8月、2023年1月)
- ・MRI集中講習会を開催する。(2023年2月)
- ・マネージメント講習会を開催する。(2023年1月)
- ・合同学術講演会を開催する。(2022年10月)
- ・学術的な刊行物の発刊および発刊済みの改訂、検討を行う。
- ・教育委員会と合同での企画を開催する。

教育委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・委員会を年12回開催する。(毎月第1水曜日開催予定)
- ・日放技の委託事業（フレッシャーズセミナー、基礎技術講習）の開催。
※会場開催かweb開催のハイブリッドを予定。
- ・教育的な刊行物の発刊や発刊済みの改訂などの企画。
- ・学術委員会と合同での企画開催。
- ・日放技、技術学会等の包括的な事業協力。

広報委員会

- ・イベント参加
 - ① 4月：ピンクリボンウォーク2022（お台場）
 - ② 5月：看護フェスタ2022（新宿駅西口広場イベントコーナー）
 - ③ 10月：中央区健康福祉まつり2022（中央区保健所）
 - ④ 11月：OTAふれあいフェスタ2022（ボートレース平和島）
 - ⑤ 11月：第37回東村山市民健康のつどい（東村山市いきいきプラザ）
 - ⑥ 未定
- ・物品貸出
予定なし。

厚生調査委員会

- ・定款に基づく本会の事業の推進を図る。
- ・診療放射線業務関係・給与関係・技師会活動関係等のいずれかをテーマに実態アンケート調査を1回行う。
- ・アンケート調査協力への広報活動を行う。
- ・委員会を年10回開催する。また、必要に応じて会議開催を行う。
- ・使用済み切手の収集活動を行う。
- ・災害関係への募金活動を行う。
- ・会員親睦行事を開催する。

情報委員会

- ・ホームページ定期、随時更新。
- ・ホームページ保守、管理。
- ・ホームページの改修作業。
- ・ホームページ使用ニーズに対するシステム変更。
- ・ホームページの活用解析。
- ・サーバーおよびメーリングリストの保守、管理。
- ・情報委員会会議を適宜に開催する。
- ・情報委員のスキルアップ勉強会を開催。

涉外委員会

- ・表彰委員会開催 2回。
- ・涉外委員会開催 適宜。
- ・叙勲への推薦。
- ・東京都功労者表彰への推薦。
- ・小野賞、功労賞等の総会表彰。
- ・日放技 永年勤続表彰等への推薦。
- ・その他関連団体における表彰への推薦。

2. 地区（支部）委員会

第1地区

- ・地区委員会を年11回開催する。
原則：毎月第3火曜日に開催する。（8月休会）
- ・地区研修会を開催する。
日時・場所：未定
- ・城東支部研修会を開催する。
日時・場所：未定
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。
予定：2022年10月下旬頃
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会への入会促進を図る。
- ・技師会行事について、地区会員へ広報を行う。
①地区・支部研修会 ②各種研修会・講演会・セミナー ③学術大会（日放技・関東甲信越地域）
④新春のつどい等

第2地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
予定：令和4年10月 ハイブリッド形式
- ・城東支部研修会を開催する。
予定：令和4年7月 ハイブリッド形式
- ・地区委員会を年10回開催する。（原則として3週目水曜日）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。地区委員を1名増員。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・中央区クリーンデー参加。
予定：令和4年5月下旬頃
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報・参加呼びかけを行う。
①総会 ②地区・支部研修会 ③各種研修会・セミナー ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会 ⑥新春のつどい等

第3地区

- ・地区（研修会・懇親会）を開催する。
予定：令和4年11月頃に開催する。（会場開催かweb開催の予定）
- ・支部研修会を開催する。
予定：令和5年2月頃に開催する。（会場開催かweb開催の予定）
- ・地区委員会を年11回開催する。（毎月第3木曜日開催原則）
- ・未入会者には電話・メール等で入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

第4地区

- ・地区研修会（参加者オープン）の開催。（2023年2月予定）
- ・地区若手技師交流会（第4地区限定）を開催。（2022年9月予定）
- ・地区委員会を年8回以上開催。
(原則 理事会開催月 第3木曜日に開催し、新型コロナウイルス感染症の感染拡大状況を鑑みて対面・web・メール会議にて開催)
- ・入会促進および未納退会会員減少に務める。
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す。
- ・地区委員会未参加施設への地区委員会への参画を促し、次期地区委員候補探しを行うとともに、地区委員メンバーの活性化を図る。
- ・小野賞の選考。
- ・城南支部の地区（4・8・11・15）間の連携を強化する。
- ・城南支部研修会への協力を行う。
- ・OTAふれあいフェスタ2022への参加協力。
- ・日本診療放射線技師会および東京都診療放射線技師会の行事について地区会員へ積極的に参加を呼びかけ、参加率の向上を目指す。

第5地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
予定：第5地区研修会を開催する。令和5年2月頃
- ・支部学術研修会を開催する。
予定：城北支部研修会を開催する。令和4年10月頃
- ・地区委員会を年11回開催する。
- ・ホームページ掲載の更新を行い、積極的に会員との情報共有と活性化を図る。
- ・地区行事に参加した非会員にパンフレットを配布し、入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の確認と更新を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・荒川クリーンエイド活動などに参加し、社会貢献と環境保全を促進する。
- ・東京都診療放射線技師会行事を地区会員へ呼びかけ参加を促進する。
①総会 ②学術・教育企画 ③学術大会（日放技・関東甲信越） ④学術講演会
⑤スポーツ大会 ⑥新春のつどい等

第6地区

- ・地区研修会を開催する。
予定：研修会3月
- ・支部研修会を開催する。
予定：10月
- ・地区委員会を年12回開催する。（毎月第3火曜日開催原則）
- ・必要に応じてその都度、臨時の地区委員会を開催する。
- ・未入会者には積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿の更新を行う。
- ・地区委員会名簿の確認作業と更新を行う。
- ・小野賞を選考し推薦する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②新春のつどい ③学術研修会 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域など）
⑤学術講演会 ⑥会員レクリエーション大会などの親睦事業、等

第7地区

- ・地区委員会を開催する。
予定：8月を除いた11回（メール会議を含む）
- ・支部学術研修会を開催する。
予定：感染状況を踏まえ開催予定
- ・中央区健康福祉まつりに参加する。
予定：例年10月開催（感染状況により開催しない場合あり）
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越）
⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

第8地区

- ・地区研修会を開催する。 予定：2月
- ・地区情報交換会を開催する。 予定：9月
- ・地区委員会を年8回以上開催する。
(理事会月 第2木曜日開催原則 web・メール会議もあり)
- ・入会促進を勧めると共に未納退会会員を少なくする。
- ・診療放射線技師法改正に伴う告示研修について地区会員に周知し、積極的な参加を促す。
- ・次期地区委員候補を探し、地区委員メンバーの活性化を行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区（4・8・11・15）間の連携を強化する。
- ・城南支部研修会への協力を行う。
- ・OTAふれあいフェスタ2022に参加する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行い、参加率の向上を目指す。
①学術研修会 ②ワンコインセミナー ③学術大会（日放技・関東甲信越地域）
④学術講演会 ⑤スポーツ大会 ⑥新春のつどい等

第9地区

- ・地区研修会・情報交換会を開催する。
予定：2022年9月/2023年2月（社会情勢を考慮しweb利用も検討）
- ・城西支部研修会を開催する。
予定：開催時期未定
- ・城西支部各地区との連携を強めていく。
- ・地区委員会を年10回開催する。（社会情勢を考慮しweb利用も検討）
- ・積極的に入会促進を図り退会会員を減らす努力をする。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会および地区委員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい等

第10地区

- ・地区研修会を開催する。
予定：令和5年3月頃
- ・地区委員会を年10回開催する。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①学術大会 ②総会 ③研修会 ④統一講習会 ⑤告示研修

第11地区

- ・地区学術研修会を開催する。
予定：10月頃
- ・地区委員会を毎月開催する。(メール会議を含む)
- ・未入会者には積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①予算総会 ②決算総会 ③学術研修会 ④きめこまかな生涯教育
⑤学術大会（日放技・関東甲信越地域） ⑥学術講演会 ⑦新春のつどい等

第12地区

- ・地区研修会を開催する。(社会情勢を考慮し、開催方法を調整する)
会員にはハガキやHPを利用して参加を促進する。
予定：2023年2月
- ・支部研修会を開催する。(第13地区と合同で行う)
予定：2023年3月
- ・地区委員会を年6回開催する。(開催日はその都度日程調整する)
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行うと同時に会員入会を促進するとともに、第12地区の会費未納者を減少させる。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越）
⑤レクリエーション ⑥新春のつどい等
- ・第12地区ホームページの更新・メンテナンスを定期的に行う。

第13地区

- ・地区委員会はメール会議・web会議併用にて毎月1回開催する。
(情勢を見て集合型の地区委員会開催を考える)
- ・支部研修会を開催する。(第12地区と合同で行う)
予定：2021年度は第13地区担当であったが、COVID-19感染拡大の影響により開催できず。2022年度も第13地区担当予定。
- ・地区研修会を開催する。(目標年2回の開催)
予定：2回開催を目標に年度計画を進める。
(情勢を見て集合型の地区研修会開催を考える)
- ・地区会員名簿を見直すと同時に会員入会を呼びかけていく。
- ・新たな地区委員の募集を促進。
- ・東放技・日放技主催の研修会などへの参加を促進させる。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（関東甲信越学術大会）

⑤レクリエーションへの参加（広報委員イベント手伝い） ⑥新春のつどい等

第14地区

- ・地区（第14地区のつどい）を開催する。
予定：令和4年8月 開催場所：未定
- ・支部研修会を開催する。
予定：城東支部研修会
予定：令和4年7月
- ・地区委員会を年10回開催する。（第2金曜日を開催日とする）
- ・未入会者への入会促進。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・中央区健康福祉まつりへの参加。
予定：令和4年10月
- ・地区委員への参加を要請する。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。
①総会 ②学術研修会 ③きめこまかな生涯教育 ④学術大会（日放技・関東甲信越地域）
⑤学術講演会 ⑥スポーツ大会 ⑦新春のつどい ⑧日本診療放射線技師会の告示研修

第15地区

- ・前年度中止となった城南支部研修会の開催を主管地区として行う。
- ・地区委員会を年6回程度開催する。（世上によりweb開催も検討）
- ・地区委員を増員して地区の活性化を図る。
- ・積極的に入会促進をするとともに、未納退会会員の歯止めを行う。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行い、必要な情報伝達の充実を図る。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・城南支部の地区（4・8・11・15）間の連携を強化する。
- ・OTAふれあいフェスタにスタッフとして参加要請をする。
- ・技師会行事を地区会員へ積極的に広報して参加の呼びかけを行う。
①総会 ②学術大会（日放技・関東甲信越地域）③学術研修会 ④きめこまかな生涯教育
⑤親睦行事 ⑥OTAふれあいフェスタ ⑦新春のつどい等

第16地区

- ・地区（研修会・情報交換会）を開催する。
予定：令和5年2月頃
- ・支部研修会を開催する。
予定：令和4年10月頃
- ・地区委員会を年11回開催する。第3金曜日（8月休会）
- ・未入会者には積極的にパンフレットを郵送し、また電話・メール等で積極的に入会促進を図る。
- ・地区会員名簿のメンテナンスを行う。
- ・地区委員会連絡網のメンテナンスを行う。
- ・地区会員連絡網のメンテナンスを行う。
- ・小野賞を選考する。
- ・技師会や各団体が開催する職域向けの行事への参加を、地区会員へ積極的に参加呼びかけを行う。

3. 特別委員会

表彰委員会

- ・表彰規定に基づき叙勲およびその他の団体表彰候補者の選考・審査を行う。
- ・東京都診療放射線技師会 各功労賞候補者および団体の選考・審査を行う。

SR推進委員会

- ・委員会開催（10回程度）
- ・緊急被ばく医療研修会実施
- ・災害対策に関する啓発活動

国際委員会

- ・世界の診療放射線技師の状況を把握するため、ISRR（世界放射線技師会）やAACRT（アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会）、EACRT（東アジア学術交流大会）の動向及び学術大会などの情報収集を行う。
- ・SRTA（ソウル特別市放射線士会）など、相互学術交流の推進。
- ・国際交流を推進するための情報収集及び準備を行う。
- ・学術交流のための準備を行う。
- ・SRTA学術大会への参加。（派遣演題2演題予定）

将来検討委員会

- ・事務所追加、拡張を検討する。 予定：1年
- ・研修会等開催方法について検討する。 予定：1年

以上

2022年度予算

収支予算書

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計 体験活動 他	収益事業等会計			法 人 計	予 算 合 計 (A)	前 期 予 算 (B)	差 異 (A-B)	(単位:円) (参考)
		会 員 の た め の 生 涯 教 育 事 業	表 彰 親 睦	相 互 扶 助					
I 1 一般正味財産増減の部									
(1) 経常収益									
① 受取会員費 正会員受取会員費 賛助会員受取会員費	16,100,000 70,000	460,000 2,000	230,000 1,000	690,000 3,000	6,210,000 27,000	23,000,000 100,000	24,280,000 100,000	△ 1,280,000	
② 事業収益 研修会事業収益 親睦会事業収益 出版事業収益	666,666	333,334	2,500,000	333,334	2,500,000	1,000,000 2,500,000	1,300,000 1,700,000	△ 300,000 800,000	
③ 受取寄付金	30,000				30,000	30,000	30,000		
④ 受取補助金	500					500	500		
⑤ 雑収益 受取利息 広告収益 雑収益	1,800,000	300,000		300,000		1,800,000 600,000	1,700,000 600,000	100,000	
経常収益計	18,667,166	1,095,334	2,731,000	3,826,334	6,537,000	29,030,500	29,710,500	△ 680,000	
(2) 経常費用									
① 事業費									
給料手当 福利厚生費	799,000 125,800 3,359,280	141,000 22,200 321,346	235,000 37,000 1,620,231	376,000 59,200 1,941,577		1,175,000 185,000 5,300,857	1,175,000 185,000 5,300,857		
会議費 旅費交通費 通信運搬費 減価償却費 消耗品費 修繕費	841,212 2,209,796 1,135,016 1,264,000 240,000 8,709,638	78,895 19,234 8,447 16,000 80,081 158,000	13,315 4,223 16,000 2,000 70,093 824,000	92,210 19,234 12,670 16,000 150,174 2,000		933,422 2,229,030 1,147,686 1,280,000 8,859,812 160,000	933,422 2,136,154 1,065,708 1,280,000 10,493,956 160,000	92,876 81,978	
印刷製本費 光熱水料費 管理費 倉庫使用費 保険料 支払手数料 租税公課 慶弔費 旅費 研究助成費 原稿料 諸謝金 図書費 雑費	140,000 249,750 176,000 55,300 140,000 140,000 2,000,000 42,000 200,000 370,393 36,714 364,396	700 160,000 160,000 700 20,000 160,000 18,000 18,000 129,607 13,286 12,454	160,000 160,000 20,000 20,000 160,000 18,000 18,000 18,000 129,607 13,286 31,217	700 20,000 160,000 700 20,000 160,000 18,000 18,000 129,607 13,286 43,671		824,000 176,000 56,000 160,000 249,750 160,000 2,000,000 60,000 200,000 500,000 50,000 408,067	824,000 176,000 56,000 160,000 249,750 160,000 2,000,000 60,000 200,000 500,000 50,000 408,067	80,000 △ 40,000	
事業費計	23,300,295	863,250	2,191,079	3,054,329		26,354,624	27,773,914	△ 1,419,290	

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	予算合計 (A)	前期予算 (B)	差異 (A-B)
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰報酬	共 通	小 計				
②管理費									
役員報酬						1,210,000	210,000	210,000	
給料手当						1,175,000	1,175,000	1,175,000	
福利厚生費						185,000	185,000	185,000	
会議費						999,143	999,143	999,143	
旅費交通費						66,578	66,578	66,578	
通信運搬費						170,970	170,970	170,970	
印刷製本費						140,188	140,188	140,188	
減価償却費						252,314	252,314	252,314	
消耗品費						320,000	320,000	320,000	
修繕費						60,000	60,000	60,000	
光熱水料費						40,000	40,000	40,000	
管理費用						206,000	206,000	206,000	
倉庫使用費						44,000	44,000	44,000	
保険料						14,000	14,000	14,000	
支払手数料						40,000	40,000	40,000	
租税公課						200,250	200,250	200,250	
慶弔費						40,000	40,000	40,000	
支払報酬						950,000	950,000	950,000	
雜費						62,433	62,433	62,433	
管理費計						5,175,876	5,175,876	5,175,876	
経常費用計						5,175,876	5,175,876	5,175,876	
詳述損益調整前当期経常増減額						3,054,329	3,054,329	3,054,329	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,500,000	△ 2,500,000	△ 2,500,000	
△ 4,633,129	232,084	539,921				772,005	1,361,124	1,361,124	
△ 4,633,129	232,084	539,921				△ 2,			

第1号議案 2021年度事業報告（案）

I. 総括

2021年度は、一昨年度に引き続き、新型コロナウイルス（COVID-19）感染症の対策に全世界が明け暮れた。東京オリンピック・パラリンピック開催や緊急事態宣言など、国や地方自治体の政策のブレなどにも振り回され、感染者数、死者数が急拡大し、多くの人々が生活や経済や文化活動などを制限された。

東京都診療放射線技師会も、感染拡大防止への対応として、本会（地区開催含む）及び日本診療放射線技師会主催の講習会・勉強会等をほぼweb方式での開催とした。総会も前年度同様、代議員による書面表決方式とせざるをえなかった。学術交流協定を結んでいるソウル特別市放射線士会との交流も中止した。会員・役員は、他の医療職能とともに地域医療、国民医療の最前線でこの疫病禍と戦い、それは現在も続いている。

そのような状況であったが、東京ビッグサイトにて11月12日～14日の3日間及び、web視聴は12月24日まで、第37回日本診療放射線技師学術大会および第23回アジアオーストラレーシア地域診療放射線技師学術大会（23rd AACRT）、第28回東アジア学術交流大会（28th EACRT）を対面+各種web方式のハイブリッドにて開催した。新型コロナウイルス感染対策により、海外から来日しての参加については取りやめとなつたが、開催にあたり、さまざまな制約の中、webも含めた学術発表、シンポジウム、各種企画等にご協力いただいた会員の皆さま、機器展示・協賛セミナー等へのご協力をいただいた業界各社の皆さま、JART役員・事務局の皆さま、各道府県技師会の皆さま、実行委員長はじめ実行委員の皆さまにあらためて感謝を申し上げる。

学術大会では、日本診療放射線技師会のスローガン「国民と共にチーム医療を推進しよう（実行委員会発足当時）」とともに、大会テーマに『技術の多様性と人の調和』を掲げ、準備をした。2019年の6月に東京で開催した関東甲信越診療放射線技師学術大会の実行委員の多くが今大会にも参画しており、その時の大会テーマ『つながる医療 つなげる“和” One for all, All for one』の理念も引き継いだ。実行委員会では「あきらめない」「できない理由より、どうすればできるか考える」「成功したことをカウントする」「報・連・相+提案」「誇りを持つ」を合言葉に進めていただいた。運営に参画していただいた多くの実行委員の貴重な経験と記憶を今後のために残せたと思っている。一昨年度の総括にも記したが、人類にとって、われわれにとって新たな社会・ルールを構築するチャンスと捉える考え方もある。

われわれ診療放射線技師は国民の皆さんの信頼に応え、医療安全の確保、医療及び公衆衛生の向上に寄与すべく、さまざまな方策を展開しなければならない。安心・安全そして納得できる医療技術の提供を求められている。常に最先端の医療技術を学び、専門性と患者の価値観の統合に基づいた医療技術=EBMを提供する必要がある。

現在喫緊の課題として、厚生労働省指定のいわゆる「告示研修」の推進がある。医師の働き方改革、タスク・シフト／シェアを推進するために、診療放射線技師法の改正が含まれた「良質かつ適切な医療を効率的に提供する体制の確保を推進するための医療法等の一部を改正する法律」が昨年5月28日に公布となり、10月1日施行となった。これによる業務拡大において、現行制度上で実施できない行為については、法令が改正されれば養成課程において必要な教育内容を追加するとともに、既に国家資格を取得済みの方々においては、厚生労働大臣が指定する告示研修を受講することが義務付けられている。南関東地域では、当初昨年9月に予定していた今後の告示研修を担うファシリテータ養成講習会が緊急事態宣言延長により延期となつたが、12月には山梨県で開催することができた。今後は各都道府県単位で研修会を推進することになる。従来の統一講習会とともに、日本診療放射線技師会と協力しながら事業を推進する。国民の医療安全を第一に見すえて、10年後、20年後、30年後のるべき未来のためにいま何をすべきかが重要である。すぐに実現できなくても、いま取り組んでおかなければ、さらに遠い未来となる。われわれには、この職能をより良いもの、より必要とされ信頼され責任を果たせる職能にして次世代、将来に引き継ぐ使命がある。

昨年末、監督官庁（東京都生活文化局）より「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律に定める法律認定基準に係る照会」があり、認定法第5条に定める公益認定の基準のうち、第9号の基準「遊休財産額の保有の制限」を満たさなかつた法人及び同条第6号の基準「収支相償」を2か年以上連續して満たさなかつた法人とみなされ、余剰金の解消計画を提出することとなつた。このことについて、webによる各種会議、セミナーなどの利便性と安定性を担保するための設備投資も含め、公益目的事業の規模拡大、資産取得資金の積立などを推進することが、昨年度末の臨時理事会で承認された。

本会事業・活動の推進に対し、多大なご理解をいただいたことに感謝申し上げるとともに、新年度も今まで以上に都民・国民・会員のために本会の事業を推進する所存であり、皆さま方のより一層のご支援とご協力をお願いする次第である。

II. 事業報告

1. 診療放射線技術の向上に関する調査・研究および指導に関する事業

1) 第19回サマーセミナー

開催日時：2021年8月28日（土）15時00分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

大会テーマ：「心疾患－最近のトレンド－」

講 師：CT 東邦大学医療センター大森病院
RI 東京女子医科大学病院
カテ 桜原記念病院
MRI 杏林大学医学部付属病院

鷲塚 冬記
貝本 葉子
武田 和也
福島 啓太

参加人数：14名（会員14名）

2) 第19回ウインターセミナー

開催日時：2022年1月29日（土）15時00分－16時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

大会テーマ：「知っておくべき腹部・骨盤部単純X線撮影における生殖腺遮蔽廃止の動向とその科学的根拠」

講 師：杏林大学 保健学部 診療放射線技術学科 石川 純也
参加人数：59名（会員57名、非会員2名）

3) 2021年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」

(1) 診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」（第121回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：2021年5月16日（日）8時50分－16時50分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会、公益社団法人日本診療放射線技師会

講 師：エチケット・マナー講座・医療コミュニケーション

東京女子医科大学病院	浅沼 雅康
医療安全対策講座	江田 哲男
感染対策講座	渡辺 靖志
被ばく低減講座	圓城寺純至
技師会活動紹介	野口 幸作
胸部X線撮影の基礎講座	市川 篤志
気管支解剖講座	比内 聖紀
CT装置・検査の基礎講座	野口 幸作
MRI装置・検査の基礎講座	長谷川浩章
画像診断に必要な検査値講座	野中 孝志
入会案内	野中 孝志
日本大学板橋病院	野口 幸作
東京臨海病院	日本大学板橋病院
国際医療福祉大学	東京臨海病院
公立福生病院	国際医療福祉大学
公立福生病院	公立福生病院
東京都診療放射線技師会	公立福生病院
東京都診療放射線技師会	東京都診療放射線技師会

参加人数：43名（会員3名、非会員40名）

(2) 診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」（第122回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：2021年5月30日（日）8時50分－16時50分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会、公益社団法人日本診療放射線技師会

講 師：エチケット・マナー講座・医療コミュニケーション

国立がん研究センター中央病院	麻生 智彦
医療安全対策講座	白木 尚
感染対策講座	小野 賢太
被ばく低減講座	寺嶋 元一
技師会活動紹介	野口 幸作
練馬光が丘病院	練馬光が丘病院
東大和病院	東大和病院
東京臨海病院	東京臨海病院
東京都診療放射線技師会	東京都診療放射線技師会

胸部X線撮影の基礎講座	東京都診療放射線技師会	市川 篤志
気管支解剖講座	帝京大学医学部附属病院	西郷 洋子
CT装置・検査の基礎講座	東京臨海病院	野口 幸作
MRI装置・検査の基礎講座	東京医科大学病院	岡本 淳一
画像診断に必要な検査値講座	日本大学板橋病院	市川 篤志
入会案内	国際医療福祉大学	市川 重司
	東京都診療放射線技師会	野口 幸作

参加人数：41名（会員4名、非会員37名）

(3) 診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」（第124回日暮里塾ワンコインセミナー同時開催）

開催日時：2021年6月13日（日）8時50分－16時50分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

主 催：公益社団法人東京都診療放射線技師会、公益社団法人日本診療放射線技師会

講 師：エチケット・マナー講座・医療コミュニケーション

医療安全対策講座	国際医療福祉大学	市川 重司
感染対策講座	公立福生病院	鮎川 幸司
被ばく低減講座	北里研究所病院	小林 隆幸
技師会活動紹介	三郷中央総合病院	閑谷 薫
	東京都診療放射線技師会	野口 幸作
	東京都診療放射線技師会	市川 篤志
胸部X線撮影の基礎講座	三井記念病院	増田 祥代
気管支解剖講座	東京臨海病院	野口 幸作
CT装置・検査の基礎講座	慶應義塾大学病院	南島 一也
MRI装置・検査の基礎講座	東邦大学大橋病院	皆川 智哉
画像診断に必要な検査値講座	東京医科大学病院	平瀬 繁男
入会案内	東京都診療放射線技師会	野口 幸作

参加人数：41名（会員4名、非会員37名）

4) きめこまかな生涯教育

(1) 第69回きめこまかな生涯教育

開催日時：2021年7月17日（土）15時00分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テー マ：「日常業務のギモンを聞いてみよう！ CTの基礎編－画像評価・被ばく管理の基礎・臨床－」

講 師：北里大学北里研究所病院

小林 隆幸

帝京大学医学部附属病院

樋田 伸治

順天堂大学医学部附属順天堂医院

横田 卓也

参加人数：19名（会員19名）

(2) 第70回きめこまかな生涯教育

開催日時：2021年10月16日（土）15時00分－17時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テー マ：「日常業務のギモンを聞いてみよう！ MRIの基礎編－基礎からちょっと応用まで－」

講 師：東京慈恵会医科大学附属病院

北川 久

参加人数：25名（会員25名）

5) 第21回公益社団法人東京都診療放射線技師会・公益社団法人日本放射線技術学会東京支部 合同学術講演会

開催日時：2022年2月5日（土）16時00分－18時00分

開催場所：東京都立大学秋葉原サテライトキャンパス（web開催）

テー マ：「AI（artificial intelligence）の臨床使用」

講 師：東京女子医科大学病院

森田 康介 氏

東京慈恵会医科大学附属病院

塩田 翔一 氏

シーメンスヘルスケア株式会社

木川 路代 氏

参加人数：80名（会員34名、非会員46名）

6) 日暮里塾ワンコインセミナー

(1) 第118回日暮里塾ワンコインセミナー&城西支部研修会

開催日時：2021年4月7日（水）19時00分-19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テーマ：「東京ビッグサイトで発表しませんか」

講 師：日本大学医学部附属板橋病院

市川 篤志

参加人数：38名（会員36名、非会員2名）

(2) 第119回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2021年4月14日（水）19時00分-19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テーマ：「前立腺がんにおける転移評価について」

講 師：富士フィルム富山化学株式会社 プロダクトマーケティング部

河上 一公

参加人数：45名（会員43名、非会員2名）

(3) 第120回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2021年5月12日（水）19時00分-19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テーマ：「X線出力アナライザ Piranhaの使用例およびファントム自動解析ソフトウェアの紹介」

講 師：アクロバイオ株式会社

渡辺 圭悟

参加人数：30名（会員29名、非会員1名）

(4) 第121回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシャーズセミナー同時開催）

開催日時：2021年5月16日（日）8時50分-16時50分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

講 師：2021年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に記載

参加人数：43名（会員3名、非会員40名）

(5) 第122回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシャーズセミナー同時開催）

開催日時：2021年5月30日（日）8時50分-16時50分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

講 師：2021年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に記載

参加人数：41名（会員4名、非会員37名）

(6) 第123回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2021年6月2日（水）19時00分-19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テーマ：「ファントムを使って研究発表をしてみよう」

講 師：株式会社京都科学

丹羽 伸行

参加人数：40名（会員38名、非会員2名）

(7) 第124回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシャーズセミナー同時開催）

開催日時：2021年6月13日（日）8時50分-16時50分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

講 師：2021年度診療放射線技師のための「フレッシャーズセミナー」に記載

参加人数：39名（会員4名、非会員35名）

(8) 第125回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2021年7月5日（月）19時00分-19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テーマ：「ノイズ改善ソフト！ 画像が一変 - 画像再構成ソフトウェア iQMRとSafeCT-」

講 師：長瀬産業株式会社

亀田 直誉

参加人数：23名（会員21名、非会員2名）

(9) 第126回日暮里塾ワンコインセミナー

開催日時：2021年10月21日（木）19時00分-19時40分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）
テーマ：「一般撮影マネジメント機能 RADInsight - 画像とデータの分析で一般撮影業務の最適化をサポート -」
講師：コニカミノルタジャパン株式会社 首都圏支店 営業推進グループ メジャーアカウント担当 和田 直人
参加人数：21名（会員20名、非会員1名）
(10) 第127回日暮里塾ワンコインセミナー
開催日時：2021年12月8日（水）19時00分-19時40分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）
テーマ：「ちょっと教えて！ ペースメーカについて」
講師：日本メドトロニック株式会社 CRHF事業部 升田ちなみ
参加人数：43名（会員41名、非会員2名）
(11) 第128回日暮里塾ワンコインセミナー
開催日時：2022年1月12日（水）19時00分-19時40分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）
テーマ：「ちょっと教えて！ ベッドサイドモニターについて - 呼吸管理モニタリングの必要性 -」
講師：日本光電工業株式会社 東京支社ソリューション営業部 山口布希子
参加人数：31名（会員29名、非会員2名）
(12) 第129回日暮里塾ワンコインセミナー
開催日時：2022年2月9日（水）19時00分-19時40分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）
テーマ：「単純X線撮影は、動画撮影の領域へ - X線動画解析ワークステーション KINOSIS（キノシス）-」
講師：コニカミノルタジャパン株式会社 ヘルスケアカンパニー IoT事業統括部 病院戦略部 元木 悠太
参加人数：48名（会員40名、非会員6名、一般2名）
(13) 第130回日暮里塾ワンコインセミナー
開催日時：2022年2月17日（木）18時30分-20時00分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）
テーマ：「学術が選んだ発表演題 - 入会促進 -」
講師：1. 心疾患リスク評価における心外膜脂肪組織計測と冠動脈石灰化スコアの比較検討
東大和病院 安藤 克哉
2. 自由呼吸下における腹壁と肺腫瘍の動きの相関について
日本大学医学部附属板橋病院 比内 聖紀
3. 東京都多摩地区における股関節撮影時の生殖腺防護現状調査
日本医科大学多摩永山病院 笹沼 和智
4. 一般撮影における再撮影低減の検討
公立昭和病院 圓城寺純至
5. 脳血管における3DDSAとMRIをfusionして作成したSlabMIP画像の有用性についての検討
杏林大学医学部付属病院 山崎 崇史
6. 単純XP・CT・MRI検査における四肢ポジショニングとオリエンテーションマークならびに
画像表示のピットフォール 順天堂大学医学部附属順天堂医院 矢口 駿
参加人数：45名（会員38名、非会員7名）
(14) 第131回日暮里塾ワンコインセミナー
開催日時：2022年3月2日（水）19時00分-19時40分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）
テーマ：「新しい技術の紹介 - 可搬型FPD搭載新型X線TVシステムと最新アプリケーションの紹介 -」
講師：株式会社島津製作所 医用機器事業部 塩見 剛
参加人数：26名（会員23名、一般3名）

7) 支部研修会

- (1) 第118回日暮里塾ワンコインセミナー&城西支部研修会
開催日時：2021年4月7日（水）19時00分-19時40分
開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テー マ：「東京ビッグサイトで発表しませんか」

講 師：日本大学医学部附属板橋病院

市川 篤志

参加人数：38名（会員36名、非会員2名）

(2) 城北支部研修会

開催日時：2021年12月4日（土）19時00分－20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センターおよびweb開催（ハイブリッド開催）

テー マ：「医療×3DCG－最新のゲームCGによる次世代可視化－」

講 師：医師／サイエンスCGクリエーター

瀬尾 拡史

参加人数：46名（会員45名、一般1名）

8) 地区研修会

(1) 第6地区研修会（第6地区ミーティング 夜会2021）

開催日時：2021年8月28日（土）22時00分－22時40分

開催場所：web開催（Zoom）

テー マ：「CTとMRIのちょっとした話」

講 師：博慈会記念総合病院

伊佐 理嘉

かねなか脳神経外科

片岡 剛

参加人数：66名（会員43名、非会員23名）

(2) 第13地区研修会

開催日時：2021年12月1日（水）19時00分－20時30分

開催場所：web開催（Zoom）

テー マ：「医療被ばくに関する説明（被ばく相談）の現状報告と取り組み」

講 師：青梅市立総合病院

石川 雄一

公立福生病院

黒田奈美子

杏林大学医学部付属病院

中井 健裕

参加人数：68名（会員66名、一般2名）

(3) 第9地区研修会

開催日時：2022年2月2日（水）19時00分－20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テー マ：「患者に優しい外傷撮影のイロハ－技術継承 受け継ぎ進化し続ける一般撮影技術－」

講 師：武蔵村山病院

森 剛

帝京大学医学部附属病院

西郷 洋子

参加人数：90名（会員76名、非会員11名、一般3名）

(4) 第12地区研修会

開催日時：2022年2月18日（金）19時00分－20時00分

開催場所：web開催（Microsoft Teams） 配信場所：東大和病院

テー マ：「臨床検査技師に聞く 放射線部門で役立つ検査データ－血液データを中心に－」

講 師：公立昭和病院 臨床検査科

櫻井 勉

参加人数：104名（会員64名、非会員26名、新卒かつ新入会6名、他職種1名、一般7名）

(5) 第5地区研修会

開催日時：2022年2月25日（金）19時00分－20時00分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テー マ：「子どもが検査や治療を安心安全に受けられるためのサポート－多職種による取り組み－」

講 師：東京大学医学部附属病院 看護部 業務管理室

割田 陽子

参加人数：28名（会員24名、非会員3名、一般1名）

9) 特別委員会研修会およびサーベイメータ確認校正

(1) 2021年度第1回災害対策研修会

開催日時：2022年1月28日（金）19時00分－20時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター（web開催）

テー マ：「災害対策準備はどうですか？－日頃の備えを見直そう－」

講 師：SR推進委員会委員
SR推進委員会委員
SR推進委員会委員
SR推進委員会委員
SR推進委員会委員
SR推進委員会委員
SR推進委員会委員

武田 聰司
福原かほる
金子 貴之
高林 正人
浅野 翔太
渡辺 靖志

参加人数：16名（会員16名）

(2) 2021年度SR推進委員会研修会

開催日時：2022年3月13日（日）13時00分－16時30分

開催場所：公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修センター

テー マ：「緊急被ばく医療研修会－3.11を風化させない－」

講 師：SR推進委員会委員
SR推進委員会委員
SR推進委員会委員

武田 聰司
福原かほる
金子 貴之

参加人数：0名（新型コロナウィルス感染症の蔓延状況を考慮し開催中止とした）

10) ボランティア活動（地球環境保全活動）

(1) 中央区クリーンデー（中央区環境推進課環境活動係による清掃活動）

開催日時：2021年5月30日（日）9時00分－11時00分

活動場所：中央区保健所周辺（明石公園含む）

来 場 者：0名（新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

2. 放射線医療並びに放射線障害防止の普及啓発に関する事業

各健康フェスティバルに参加出展

(1) ピンクリボンウォーク2021

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：0名（新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

(2) 第19回看護フェスタ

日 時：2021年12月1日（水）－12月31日（金）

会 場：web開催

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：0名（新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のためweb開催との連絡を受けたが、今回は不参加）

(3) 中央区健康福祉まつり2021

日 時：2021年10月24日（日）11時00分－14時00分

会 場：中央区保健所

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：0名（新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため参加辞退）

(4) OTAふれあいフェスタ2021

日 時：2021年11月予定

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動・無料骨密度測定

来 場 者：0名（新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

(5) 第37回東村山市民健康のつどい

日 時：2021年11月13日（土）－11月14日（日）

会 場：東村山市いきいきプラザ

内 容：都民への放射線医療や放射線に関する正しい知識の普及・啓発活動

来 場 者：0名（新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

3. 放射線機器および資材の改良に関する事業

各種学会や研修会に協力し、医用放射線機器の改良に努力し、もって都民に保健衛生向上に寄与した。

4. 関連団体との連携協調に関する事業

本会では関連機器団体との懇親と調和を目的として、“新春のつどい”を毎年開催していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止とした。

また、公益社団法人日本診療放射線技師会との連携強調を目的とした業務拡大に伴う統一講習会、基礎技術講習「一般撮影」を例年開催していたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止とした。

5. 図書印刷物の刊行物に関する事業

放射線技術関連学術雑誌「東京放射線」（月刊）を発行し、診療放射線技師・エックス線技師へ有償にて配布、放射線技術・学術の向上ならびに職業倫理の高揚を図った。また、全国の診療放射線技師養成校・放射線関連機関・団体および国立国会図書館ならびに放射線技師教育関係、各都道府県技師会に寄贈した。

誌名「東京放射線」月刊 昭和37年12月13日第三種郵便物認可

発行状況	ページ数	発行年月日
第68巻 第4号（通巻793号）	36	2021.4.1
	48	5.1
	64	6.1
	44	7.1
	40	9.1
	24	10.1
	32	11.1
	40	12.1
第69巻 第1号（通巻801号）	36	2022.1.1
	36	2.1
	40	3.1
	165	3.28

主な掲載記事

- 1) 卷頭言..... 11回
- 2) 東放技ニュース..... 11回
- 3) 定期総会議事録..... 1回
- 4) 誌上講座〔消化管造影検査〕..... 9回
- 5) 学術奨励賞報告..... 1回
- 6) 学術研修会・きめこまかな生涯教育に関する記事..... 4回
- 7) 支部・地区活動に関する記事..... 3回
- 8) 表彰者に関する報告..... 2回
- 9) 調査アンケートに関する報告..... 2回
- 10) パイプライン..... 21回

その他、会員からの寄稿文など多数掲載

主な贈呈先

東京都総務局行政指導課、東京都衛生局医務部医務課、東京都郵政局郵政部事業課第二業務課、国立国会図書館、東京都立大学図書館、東京歯科大学図書館、慶應大学医学情報センター、駒澤大学図書館、株式会社アンダーライン、日本化学技術情報センター、公益社団法人日本診療放射線技師会、公益社団法人日本放射線技術学会、各道府県放射線技師会、全国診療放射線技師養成機関など

6. その他、法人の目的達成に必要な事業

1) 本会活動の目標スローガンに基づく事業

「チーム医療を推進し、国民及び世界に貢献する診療放射線技師の育成」

以上、スローガン達成のため特別委員会を設け活動した。

III. 活動報告

1. 会長・副会長・専門部委員会

【2021年4月】

- 1日（木）：第1回理事会（web開催）
3日（土）：経理事務作業
5日（月）：東京電子専門学校入学式／日本診療放射線技師連盟シンポジウム／令和2年度アンケート調査報告書作成作業
6日（火）：庶務事務作業
7日（水）：第118回NOCセミナー（web開催）／庶務事務作業
9日（金）：庶務事務作業
12日（月）：庶務事務作業
13日（火）：第1回総務委員会／第1回編集委員会
14日（水）：第119回NOCセミナー（web開催）／学術教育合同委員会／2021年5月号青焼き校正
15日（木）：日本診療放射線技師連盟報告会／2021学術大会挨拶回り（item横浜）
16日（金）：ITEM2021展示メーカー挨拶回り／経理事務作業／涉外事務作業
17日（土）：ITEM2021展示メーカー挨拶回り
18日（日）：涉外事務作業
19日（月）：日本診療放射線技師連盟報告会／庶務事務作業
20日（火）：2021学術大会打ち合わせ（日本旅行）／第1回情報委員会（web開催）
21日（水）：第1回五役会（web開催）
22日（木）：経理事務作業／庶務事務作業／2021学術大会打ち合わせ（編集委員）
24日（土）：期末監査準備
26日（月）：期末監査準備／庶務事務作業
27日（火）：期末監査／第1回厚生調査委員会
28日（水）：第1回専門部委員会（web開催）／2021学術大会実行委員会

【2021年5月】

- 1日（土）：JART第1回理事会（web開催）
2日（日）：経理事務作業
5日（水）：庶務事務作業
6日（木）：第2回理事会（web開催）
7日（金）：庶務事務作業
10日（月）：南関東FRT会議（web開催）／庶務事務作業／2021年6月号初校校正
11日（火）：庶務事務作業／第2回編集委員会（web開催）
12日（水）：第120回NOCセミナー（web開催）
13日（木）：事務所照明改修現地調査（大塚商会）／合同学術講演会東京支部との打ち合わせ（web開催）
14日（金）：経理事務作業／庶務事務作業＋フレッシャーズセミナー準備作業／涉外事務作業

- 16日（日）：第121回NOCセミナー＋フレッシャーズセミナー①（web開催）
17日（月）：JART第83回総会TART代議員大会／第1回総会運営会議（web開催）／第2回学術教育委員会（web開催）／2021年6月号青焼き校正
18日（火）：JART第83回総会TART代議員大会／庶務事務作業／第2回厚生調査委員会
19日（水）：JART第83回総会TART代議員大会／庶務事務作業／第1回SR推進委員会（web開催）
20日（木）：JART第83回総会TART代議員大会／第2回五役会（web開催）／涉外事務作業
21日（金）：JART第83回総会TART代議員大会／庶務事務作業／第2回情報委員会（web開催）
22日（土）：JART第83回総会TART代議員大会／期末監査帳票処理／庶務事務作業
23日（日）：JART第83回総会TART代議員大会
24日（月）：JART第83回総会TART代議員大会／JART-TART合同会議（web開催）
25日（火）：事務所照明改修現地調査（アイリスオーヤマ）／JART拡大財務委員会
26日（水）：庶務事務作業
27日（木）：第2回専門部委員会（web開催）／2021学術大会日本旅行打ち合わせ
28日（金）：経理事務作業
30日（日）：第122回NOCセミナー＋フレッシャーズセミナー②（web開催）

【2021年6月】

- 1日（火）：庶務事務作業／涉外事務作業
2日（水）：第123回NOCセミナー（web開催）
3日（木）：第3回理事会（web開催）／涉外事務作業
4日（金）：東京大規模接種センター視察
5日（土）：JART第83回定時総会（web開催）／庶務事務作業
7日（月）：庶務事務作業／涉外事務作業／2021年7・8月合併号初校校正
8日（火）：涉外事務作業／第3回編集委員会（web開催）
9日（水）：庶務事務作業
10日（木）：経理事務作業
11日（金）：庶務事務作業／フレッシャーズセミナー準備作業
12日（土）：涉外事務作業
13日（日）：第124回NOCセミナー＋フレッシャーズセミナー③（web開催）
14日（月）：庶務事務作業
15日（火）：総会準備会議／2021年7・8月合併号青焼き校正
16日（水）：第3回五役会（web開催）／第2回総会運営委員会／第2回SR推進委員会（web開催）

17日（木）：日本医療科学大学にて講義／経理事務作業／庶務事務作業
18日（金）：総会準備作業／第3回学術教育委員会
19日（土）：第72回定期総会
21日（月）：庶務事務作業／第3回情報委員会（web開催）
22日（火）：第4回編集委員会（web開催）
23日（水）：2021学術大会打ち合わせ/日本旅行（web開催）
24日（木）：第3回専門部委員会（web開催）／第37回学術大会実行委員会
27日（日）：第37回日本診療放射線技師学術大会 第1回プログラム委員会
28日（月）：告示研修ファシリテータ養成講習会説明会（web開催）

【2021年7月】

1日（木）：顧問会議／第4回理事会（web開催）／日本診療放射線連盟岸田文雄先生国政を語る会
2日（金）：関東甲信越地域拡大役員会（web開催）／平成3年度関東甲信越拡大役員会
3日（土）：庶務事務作業
5日（月）：第125回NOCセミナー（web開催）／庶務事務作業
6日（火）：庶務事務作業
7日（水）：日本診療放射線連盟畦元将吾先生活動報告会（web開催）／庶務事務作業／学術教育合同委員会（web開催）
8日（木）：日本診療放射線連盟宏池会と語る会／2021学術大会TART第3回プログラム委員会（web開催）
9日（金）：庶務事務作業
10日（土）：2021学術大会JART/TART合同会議（web開催）／JART第2回理事会（web開催）／日本診療放射線連盟理事会（web開催）
11日（日）：涉外委員会
12日（月）：庶務事務作業／JCRT第2回編集委員会（JART）
13日（火）：経理事務作業／涉外事務作業／第1回70周年記念事業実行委員会
14日（水）：庶務事務作業（70周年準備作業）
15日（木）：日本診療放射線連盟理事会（web開催）
16日（金）：経理事務作業／JCRTプログラム委員会（TART）
17日（土）：第69回きめこまかな生涯教育（web開催）
19日（月）：日本診療放射線連盟理事会（web開催）／庶務事務作業
20日（火）：日本診療放射線連盟対策会議／経理事務作業／JCRT編集会議（JART）（web開催）
21日（水）：第4回五役会
24日（土）：庶務事務作業（70周年準備作業）
26日（月）：医学放射線学会・青木茂樹先生と面談＝

於：順天堂大学／第3回厚生調査委員会
27日（火）：庶務事務作業／第3回SR推進委員会（web開催）
29日（木）：第4回専門部委員会（web開催）／JCRT実行委員会（TART）（web開催）

【2021年8月】

2日（月）：南関東地域FRT会議（web開催）
3日（火）：庶務事務作業（70周年関連作業）
4日（水）：東京都看護協会・山元会長と面談（都看協会館にて）
5日（木）：JART・読影の補助分科会会議（web開催）／日本診療放射線連盟説明会（web開催）／庶務事務作業（70周年関連作業）
7日（土）：日本診療放射線連盟説明会（web開催）／庶務事務作業（PC設定）
9日（月）：庶務事務作業（PC設定）
10日（火）：経理事務作業／庶務事務作業（2021都後援資料作成）／JCRT打ち合わせ（日本旅行）／第2回70周年記念事業実行委員会／第5回編集委員会（web開催）
11日（水）：JART・告示研修緊急会議（web開催）／庶務事務作業／日本旅行打ち合わせ（web開催）／2021年9月号初校校正
17日（火）：経理事務作業／庶務事務作業（70周年関連作業）
18日（水）：学術教育合同委員会
19日（木）：経理事務作業／庶務事務作業／2021年9月号青焼き校正
20日（金）：庶務事務作業（FRT会場準備）／第4回厚生調査委員会（web開催）
21日（土）：南関東地域FRT第6回研修会（web開催）
23日（月）：庶務事務作業（LED工事確認）／第4回情報委員会（web開催）
24日（火）：庶務事務作業（LED工事確認）／JCRT第5回プログラム委員会（web開催）
25日（水）：庶務事務作業／JCRT web口述発表座長会議（web開催）
26日（木）：JCRT実行委員会（TART）（web開催）／第5回専門部委員会（web開催）／医療技術者団体協議会通常総会
28日（土）：第19回サマーセミナー（web開催）／第6地区Meeting（web開催）
31日（火）：JART財務委員会
【2021年9月】
1日（水）：庶務事務作業
2日（木）：第5回理事会（web開催）
5日（日）：AACRT開閉会式鐘打動画収録
6日（月）：庶務事務作業／2021年10月号初校校正
7日（火）：庶務事務作業／第5回厚生調査委員会（web開催）

8日（水）：庶務事務作業
9日（木）：37JCRT会場担当者会議
11日（土）：岸田文雄先生が地方の「声」を聴く～リモートヒアリング企画 診療放射線技師の「声」を聴くリモートヒアリング
13日（月）：南関東地域FRT会議（web開催）／合同学術講演会東京支部合同会議（web開催）／2021年10月号青焼き校正
14日（火）：第6回編集委員会（web開催）
15日（水）：第5回五役会（web開催）
16日（木）：渉外事務作業／第4回SR推進委員会（web開催）
18日（土）：渉外事務作業
19日（日）：第3回合同学術講演会東京支部合同会議（web開催）
20日（月）：南関東地域臨時会長会議（web開催）／庶務事務作業（FRT会場準備）
21日（火）：渉外事務作業／第6回学術教育合同委員会（web開催）
22日（水）：庶務事務作業
23日（木）：渉外事務作業
24日（金）：庶務事務作業／渉外事務作業
25日（土）：第75回技術学会東京支部学術大会式典・総会出席／渉外事務作業
27日（月）：第6回厚生調査委員会（web開催）／第5回情報委員会（web開催）
28日（火）：東京都福祉保健局医療政策部医療安全課・小林氏と面談／37JCRT担当者会議（web）
30日（木）：JCRT実行委員会（web開催）／第6回専門部委員会（web開催）

【2021年10月】

2日（土）：東京ビッグサイト（学会会場）内覧会／JART第3回理事会（web開催）／連盟理事会（web開催）／庶務事務作業／渉外事務作業
4日（月）：庶務事務作業
5日（火）：庶務事務作業
6日（水）：経理事務作業
7日（木）：第6回理事会（web開催）／JCRTコングレスブック校正
9日（土）：庶務事務作業
11日（月）：第1回選挙管理委員会／2021年11月号初校校正
12日（火）：JART臨床実習指導教員分科会（web開催）／2021学術大会JART/TART合同会議（web開催）／庶務事務作業／第7回編集委員会（web開催）／第3回70周年実行委員会（web開催）
13日（水）：JCRT担当者会議
15日（金）：庶務事務作業
16日（土）：第70回きめこまかな生涯教育（web開催）

18日（月）：医療従事者ネットワーク会議（都庁）／経理事務作業／JCRT web発表者打ち合わせ
19日（火）：第2回総務委員会／経理事務作業／庶務事務作業／2021年11月号青焼き校正
20日（水）：第1回表彰委員会（web開催）／第6回五役会（web開催）／JCRT web発表者打ち合わせ／第6回情報委員会（web開催）
21日（木）：第126回NOCセミナー（web開催）／庶務事務作業／渉外事務作業
23日（土）：JCRT web発表者打ち合わせ／2021学術大会実行委員会
24日（日）：JCRT第4回web発表者説明会（web開催）
25日（月）：庶務事務作業／学術委員会／第5回SR推進委員会（web開催）
26日（火）：JCRT web発表者打ち合わせ
27日（水）：JCRT日本旅行と打ち合わせ
28日（木）：第7回専門部委員会（web開催）
29日（金）：JCRT実行委員会
30日（土）：日本診療放射線技師連盟 石原伸晃候補を応援する会（web開催）／中間監査準備
31日（日）：JCRT web発表者打ち合わせ
【2021年11月】
1日（月）：中間監査
2日（火）：庶務事務作業
4日（木）：第7回理事会（web開催）／2021学術大会実行委員会（web開催）
5日（金）：2021学術大会実行委員会（ハイブリッド開催）／JCRT実行委員会（web開催）
6日（土）：経理事務作業
8日（月）：JART入魂式（鈴鹿医療科学大学）／JCRT打ち合わせ（TART）（web開催）／庶務事務作業／2021年12月号初校校正
9日（火）：JCRT打ち合わせ（TART）（web開催）／庶務事務作業／第8回編集委員会（web開催）
10日（水）：JCRT打ち合わせ（TART）（web開催）／庶務事務作業
11日（木）：2021学術大会前日準備・開会式リハーサル
12日（金）：2021学術大会
13日（土）：2021学術大会
14日（日）：2021学術大会
15日（月）：南関東FRT会議（web開催）／第37回JCRT片付け
16日（火）：第37回JCRT 経理事務作業／2021年12月号青焼き校正
17日（水）：第7回五役会（web開催）
18日（木）：経理事務作業
19日（金）：庶務事務作業／第8回学術委員会
22日（月）：第37回JCRT 経理事務作業
23日（火）：JART web参加者領収証発送作業
24日（水）：第37回JCRT 経理事務作業／第7回情報

委員会（web開催）
25日（木）：第8回専門部委員会（web開催）
29日（月）：第37回JCRT 経理事務作業／庶務事務作業
【2021年12月】
1日（水）：第13地区研修会（web開催）／庶務事務作業
2日（木）：第8回理事会（web開催）
3日（金）：顧問会議／事務職員賞与支給／第4回70周年実行委員会
4日（土）：JART第4回理事会（web開催）／連盟理事会（web開催）／37JCRT経理作業／庶務事務作業／城北支部研修会準備
5日（日）：教育委員幹事会議（web開催）／分科会合同会議（web開催）／JART教育委員幹事会議
6日（月）：庶務事務作業／技術学会合同会議（web開催）／2022年1月号初校校正
7日（火）：経理事務作業
8日（水）：第127回NOCセミナー（web開催）／庶務事務作業
9日（木）：37JCRT経理作業
10日（金）：涉外事務作業
11日（土）：経理事務作業／涉外事務作業
13日（月）：37JCRT経理作業／庶務事務作業／第2回表彰委員会（メール会議）
14日（火）：第9回編集委員会（web開催）
15日（水）：第8回五役会／庶務事務作業
16日（木）：庶務事務作業／2022年1月号青焼き校正
17日（金）：南関東地域・告示研修ファシリテータ養成講習会（前日準備）
18日（土）：南関東地域・告示研修ファシリテータ養成講習会／四谷会計事務所と打ち合わせ
19日（日）：南関東地域・告示研修ファシリテータ養成講習会
21日（火）：庶務事務作業／第6回SR推進委員会（web開催）
22日（水）：日本放射線技師連盟（岸田文雄と国政を語る会）／事務所照明取扱い説明
23日（木）：第9回専門部委員会（web開催）
25日（土）：37JCRT経理作業
28日（火）：事務所納め
【2022年1月】
3日（月）：涉外事務作業
4日（火）：事務所開き
5日（水）：第9回五役会（臨時）
6日（木）：第9回理事会（web開催）
10日（月）：2022年2月号初校校正／涉外事務作業
11日（火）：第10回編集委員会（web開催）
12日（水）：第128回NOCセミナー（web開催）／告示研修ファシリテータ会議／畦元将吾報告会（web開催）／庶務事務作業

13日（木）：JART告示研修運営会議（web開催）／経理事務作業／セコム電子錠不具合連絡／庶務事務作業
14日（金）：庶務事務作業／2022年2月号青焼き校正
15日（土）：庶務事務作業
17日（月）：第2回選挙管理委員会／第19回ウインターセミナー準備
18日（火）：庶務事務作業
19日（水）：第10回五役会／第7回SR推進委員会（web開催）
20日（木）：あぜもと将吾政経フォーラム／経理事務作業／庶務事務作業／第9回情報委員会（web開催）
21日（金）：庶務事務作業／第12回学術教員区委員会（web開催）
22日（土）：JART全国地域連絡協議会（会長会議）（web開催）
23日（日）：セコム電子錠交換
24日（月）：南関東地域FRT会議（web開催）／セコム電子錠交換確認
25日（火）：第10回理事会（臨時）（web開催）／学術大会 JART経理確認打ち合わせ
26日（水）：2022年新春座談会（web開催）
27日（木）：第10回専門部委員会（web開催）／告示研修ファシリテータ会議（web開催）
28日（金）：2021年度第1回災害対策研修会（web開催）
29日（土）：第19回ウインターセミナー（web開催）
【2022年2月】
1日（火）：庶務事務作業
2日（水）：第9地区研修会（web開催）／庶務事務作業
3日（木）：第11回理事会（web開催）
4日（金）：東京ファシリテータ会議
5日（土）：第21回合同学術講演会（web開催）
6日（日）：庶務事務作業／涉外事務作業
7日（月）：37JCRT JART財務と打ち合わせ／庶務事務作業
8日（火）：2021学術大会実行委員会（web開催）／第11回編集委員会（web開催）
9日（水）：第129回NOCセミナー（web開催）／庶務事務作業
10日（木）：経理事務作業／37JCRT JART財務と打ち合わせ／2022年3月号初校校正
11日（金）：2021年度第2回南関東地域協議会拡大役員会（web開催）
12日（土）：37JCRT JART財務と打ち合わせ
15日（火）：庶務事務作業／2022年3月号青焼き校正／第8回SR推進委員会（web開催）
16日（水）：第11回五役会／37JCRT 経理事務作業／涉外事務作業
17日（木）：第130回NOCセミナー（web開催）

18日（金）：第12地区研修会（web開催）
19日（土）：告示研修（群馬）視察
20日（日）：告示研修（群馬）視察
21日（月）：庶務事務作業
22日（火）：第1回告示研修（東京）への出向／告示研修講師打ち合わせ／第10回情報委員会（web開催）
24日（木）：第11回専門部委員会（web開催）
25日（金）：多摩放射線技師連合会総会（web開催）／第5地区研修会（ハイブリッド開催）
26日（土）：JART第5回理事会（web開催）
27日（日）：庶務事務作業
28日（月）：第38回JCRT合同会議（web開催）
【2022年3月】
1日（火）：庶務事務作業
2日（水）：第131回NOCセミナー（web開催）／庶務事務作業
3日（木）：第12回理事会（web開催）
4日（金）：庶務事務作業／告示研修準備作業／ワンコインセミナー打ち合わせ（web開催）
5日（土）：第1回告示研修
6日（日）：第2回告示研修
7日（月）：庶務事務作業／告示研修処理作業
8日（火）：庶務事務作業／第12回編集委員会（web開催）／来年度看護フェスタ打ち合わせ①（慶應義塾大学病院）
9日（水）：2021学術大会口座解約手続／2022年4月号初校校正／第5回70周年実行委員会（キタジマ）
10日（木）：学術教育打ち合わせ
11日（金）：庶務事務作業
13日（日）：庶務事務作業
14日（月）：経理事務作業／庶務事務作業／2022年4月号青焼き校正
15日（火）：庶務事務作業／涉外事務作業／第14回学術教育委員会
16日（水）：東京電子専門学校卒業式／第3回表彰委員会（web開催）／第12回五役会
17日（木）：庶務事務作業
22日（火）：第12回専門部委員会・臨時（web開催）
23日（水）：第13回理事会・臨時（web開催）
24日（木）：庶務事務作業
25日（金）：荒川消防署へ消防訓練申請／来年度看護フェスタ打ち合わせ②（慶應義塾大学病院）
28日（月）：放射線技師議連設立総会（web開催）／庶務事務作業／第11回情報委員会（web開催）
29日（火）：経理事務作業
30日（水）：あぜもと将吾活動報告会（web開催）／庶務事務作業／厚生調査委員会（web開催）
31日（木）：第13回専門部委員会（web開催）

2. 各地区共通活動

総会・研修会・生涯教育・学術大会・スポーツ大会などの東放技主催事業への協力。会員増員への啓発活動、会員名簿のメンテナンス、東放技会と会員間の案内活動などとその活動報告

3. 地区活動報告

【第1地区】

◇地区委員会開催9回（内メール会議6回）

◇城東支部研修会 開催なし

◇中央区健康福祉まつり2021

2021年10月24日（日）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

◇地区研修会 開催なし

【第2地区】

◇地区委員会開催11回（内メール会議11回）

◇城東支部研修会 開催なし

◇中央区健康福祉まつり2021

2021年10月24日（日）

（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

◇地区研修会 開催なし

◇クリーンデー（中央区内一斉清掃日）

2021年5月30日（日）

参加人数：0名（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

【第3地区】

◇地区委員会開催13回（内メール会議1回）

◇城西支部研修会 2021年4月7日（水）

参加人数：会員36名、非会員2名

◇地区研修会 開催なし

【第4地区】

◇地区委員会開催12回（内メール会議1回）

◇城南支部研修会 開催なし

◇地区研修会 開催なし

◇OTAふれあいフェスタ2021

2021年11月予定

参加人数：0名（新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため開催中止）

【第5地区】

◇地区委員会開催11回（内メール会議5回）

◇城北支部研修会 2021年12月4日（土）

参加人数：会員45名、一般1名

◇地区研修会 2022年2月25日（金）

参加人数：会員24名、非会員3名、一般1名

【第6地区】

◇地区委員会開催11回（内メール会議5回）

◇城北支部研修会 2021年12月4日（土）

参加人数：会員45名、一般1名

◇地区研修会 2021年8月28日（土）
参加人数：会員43名、非会員23名

【第7地区】
◇地区委員会開催9回（内メール会議8回）
◇城東支部研修会 開催なし
◇中央区健康福祉まつり2021
2021年10月24日（日）
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため
開催中止)
◇地区研修会 開催なし

【第8地区】
◇地区委員会開催11回（内メール会議11回）
◇城南支部研修会 開催なし
◇地区研修会 開催なし
◇OTAふれあいフェスタ2021
2021年11月予定
参加人数：0名（新型コロナウイルス感染症の感染
拡大防止のため開催中止）

【第9地区】
◇地区委員会開催11回（内メール会議8回）
◇城西支部研修会 2021年4月7日（水）
参加人数：会員36名、非会員2名
◇地区研修会 2022年2月2日（水）
参加人数：会員76名、非会員11名、一般3名

【第10地区】
◇地区委員会開催11回（内メール会議11回）
◇城西支部研修会 2021年4月7日（水）
参加人数：会員36名、非会員2名
◇地区研修会 開催なし

【第11地区】
◇地区委員会開催12回（内メール会議11回）
◇城南支部研修会 開催なし
◇地区研修会 開催なし
◇OTAふれあいフェスタ2021
2021年11月予定
参加人数：0名（新型コロナウイルス感染症の感染
拡大防止のため開催中止）

【第12地区】
◇地区委員会開催7回
◇多摩支部研修会 開催なし
◇地区研修会 2022年2月18日（金）
参加人数：会員64名、非会員26名、新卒かつ新入会
6名、他職種1名、一般7名

【第13地区】
◇地区委員会開催10回（内メール会議5回）
◇多摩支部研修会 開催なし
◇地区研修会 2021年12月1日（水）
参加人数：会員66名、一般2名

【第14地区】
◇地区委員会開催11回（内メール会議11回）

◇城東支部研修会 開催なし
◇中央区健康福祉まつり2021
2021年10月24日（日）
(新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため
開催中止)
◇地区研修会 開催なし

【第15地区】
◇地区委員会開催12回（内メール会議9回）
◇城南支部研修会 開催なし
◇地区研修会 開催なし
◇OTAふれあいフェスタ2021
2021年11月予定
参加人数：0名（新型コロナウイルス感染症の感染
拡大防止のため開催中止）

【第16地区】
◇地区委員会開催11回
◇城北支部研修会 2021年12月4日（土）
参加人数：会員45名、一般1名
◇地区研修会 開催なし

4. 支部活動報告

城西支部研修会1回
城北支部研修会1回

5. 特別委員会活動報告

【表彰委員会】
◇主な活動内容
1) 東京都功労者表彰候補者推薦
2) 叙勲候補者推薦
3) 功勞賞候補者推薦
◇委員会（内メール会議1回）
第1回委員会 2021年10月20日（水）
第2回委員会 2021年12月13日（月）-20日（月）
第3回委員会 2022年3月16日（水）

【定款諸規程等検討委員会】

◇主な活動内容
本年度はなし
【国際委員会】
◇主な活動内容
1) SRTA学術大会への派遣演題2演題
2022年3月10日（木）-13日（日）

【創立70周年記念事業実行委員会】

◇主な活動内容
1) 記念誌発行
◇委員会
第1回委員会 2021年7月13日（火）
第2回委員会 2021年8月10日（火）
第3回委員会 2021年10月12日（火）
第4回委員会 2021年12月3日（金）
第5回委員会 2022年3月9日（水）

IV. 活動報告 (庶務概要)

1. 2021年度会員数

2021年度末

	会員数	増	減	差引
正会員	2321	209	127	82

2. 会議の回数

総会1回、理事会13回、専門部委員会13回

3. 主な発行資料および文章に関する事項

- (1) 定期総会開催について
- (2) 学術講演会など講師依頼について
- (3) 広告掲載のお願いについて
- (4) 表彰候補者の推薦について
- (5) 入会案内について

4. 2021年度物故者に関する件 (敬称略)

物故会員は次の方です。

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

岡本日出夫

澤田 俊明

長谷川光男

5. 叙勲などに関する事項 (敬称略)

【秋の叙勲 瑞宝双光章】

伊藤 俊一 元 佐々総合病院

【東京都功労者表彰】

川崎 政士 大聖病院

【特別功労賞】

工藤 年男 春日部市立医療センター

【功労賞】

関 真一 立正校成会附属校成病院

【労働精励賞】

第4地区	神部 藍	ホロジックジャパン株式会社
第4地区	永倉 健司	東京慈恵会医科大学附属病院
第6地区	中山 郁恵	関川病院
第6地区	松本 浩治	苑田第一病院
第10地区	松田紗代子	新渡戸記念中野総合病院
第11地区	富岡 英樹	陸上自衛隊朝霞駐屯地医務室
第11地区	志田 晃一	東邦大学医療センター大橋病院
第13地区	森田 淳一	かわさきクリニック
第13地区	伊藤 宏和	川野病院
第14地区	長谷川浩章	国際医療福祉大学
第15地区	原田 崇	帝京大学医学部附属溝口病院

【小野賞】

学術委員会	長谷川浩章	国際医療福祉大学
第3地区	田中 志穂	慶應義塾大学病院
第5地区	菊地 克彦	東京北医療センター
第13地区	首藤 淳	杏林大学医学部付属病院

【学術奨励賞】

岡本 淳一	東京医科大学病院
「拡散強調画像におけるmulti slice同時励起を併用したReadout Segmented EPI画像の歪みの検討」	

【新人奨励賞】

三田 智穂	東大和病院
「災害時ID・バーコードを用いた他職種を含めた患者管理とスループットの改善を目的とした有効性の検討」	

【大塚 竜登】

新松戸中央総合病院

「小児撮影におけるワークフローの見直し」

第2号議案 2021年度決算報告（案）

貸 借 対 照 表

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位 : 円)

科 目	当年度	前年度	増減
I. 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	13,650,098	31,542,974	△ 17,892,876
流動資産合計	13,650,098	31,542,974	△ 17,892,876
2. 固定資産			
(1) 基本財産	0	0	0
(2) 特定資産			
建物	25,259,250	25,932,830	△ 673,580
土地	32,749,000	32,749,000	0
研修センター拡張等積立資産	20,000,000	0	20,000,000
特定資産合計	78,008,250	58,681,830	19,326,420
(3) その他固定資産			
建物附属設備	512,597	710,350	△ 197,753
什器備品	458,692	659,841	△ 201,149
電話加入権	10,300	10,300	0
ソフトウェア	250,560	354,240	△ 103,680
その他固定資産合計	1,232,149	1,734,731	△ 502,582
固定資産合計	79,240,399	60,416,561	18,823,838
資産合計	92,890,497	91,959,535	930,962
II. 負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	7,016	7,803	△ 787
預 り 金	6,720	6,870	△ 150
流動負債合計	13,736	14,673	△ 937
2. 固定負債			
固定負債合計	0	0	0
負債合計	13,736	14,673	△ 937
III. 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄 付 金	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産合計	12,895,583	12,895,583	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(12,895,583)	(12,895,583)	(0)
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	79,981,178	79,049,279	931,899
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
正味財産合計	(65,112,667)	(45,786,247)	(19,326,420)
負債及び正味財産合計	92,876,761	91,944,862	931,899
	92,890,497	91,959,535	930,962

(注) 附属明細書に記載すべき「基本財産及び特定資産の明細」は、財務諸表に対する注記の「2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」の記載により、作成を省略している。

正味財産増減計算書

令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
① 受取会費			
正会員受取会費	24,242,560	24,612,000	△ 369,440
賛助会員受取会費	77,000	97,000	△ 20,000
② 事業収益			
研修会事業収益	171,277	0	171,277
親睦会事業収益	0	0	0
③ 受取寄付金	0	200,000	△ 200,000
④ 雜収益			
受取利息	320	376	△ 56
広告収益	1,636,640	1,650,320	△ 13,680
雑収益	483,246	475,266	7,980
経常収益計	26,611,043	27,034,962	△ 423,919
(2) 経常費用			
① 事業費			
給料手当	1,157,215	1,149,382	7,833
福利厚生費	184,981	179,910	5,071
会議費	2,171,824	1,014,740	1,157,084
旅費交通費	179,994	157,173	22,821
通信運搬費	2,301,714	2,181,689	120,025
減価償却費	946,369	1,084,215	△ 137,846
消耗品費	1,139,621	451,480	688,141
修繕費	234,240	234,240	0
印刷製本費	10,670,812	7,866,350	2,804,462
光熱水料費	121,740	101,911	19,829
管理費	820,704	820,704	0
倉庫使用費	169,344	169,344	0
保険料	21,313	21,338	△ 25
支払手数料	124,990	114,744	10,246
租税公課	235,653	239,094	△ 3,441
慶弔費	26,400	0	26,400
広報関連費	307,213	2,413,287	△ 2,106,074
研究助成費	50,000	60,000	△ 10,000
原稿料	100,233	133,644	△ 33,411
諸謝金	362,603	147,569	215,034
雑費	26,514	14,599	11,915
事業費計	21,353,477	18,555,413	2,798,064

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費			
役員報酬	200,468	167,057	33,411
給料手当	1,157,215	1,149,383	7,832
福利厚生費	184,980	179,911	5,069
会議費	409,361	191,266	218,095
旅費交通費	12,838	11,211	1,627
通信運搬費	176,544	167,339	9,205
印刷製本費	168,842	124,468	44,374
減価償却費	229,793	229,793	0
消耗品費	284,906	112,870	172,036
修繕費	58,560	58,560	0
光熱水料費	30,435	25,478	4,957
管理費	205,176	205,176	0
倉庫使用費	42,336	42,336	0
保険料	5,329	5,334	△ 5
支払手数料	31,248	28,686	2,562
租税公課	188,947	191,706	△ 2,759
慶弔費	6,600	0	6,600
支払報酬	928,032	980,710	△ 52,678
雑費	4,057	2,234	1,823
管理費計	4,325,667	3,873,518	452,149
経常費用計	25,679,144	22,428,931	3,250,213
当期経常増減額	931,899	4,606,031	△ 3,674,132
2. 経常外損益の部			0
(1) 経常外収益			0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前当期一般正味財産増減額	931,899	4,606,031	△ 3,674,132
法人税、住民税及び事業税	0	0	0
当期一般正味財産増減額	931,899	4,606,031	△ 3,674,132
一般正味財産期首残高	79,049,279	74,443,248	4,606,031
一般正味財産期末残高	79,981,178	79,049,279	931,899
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	12,895,583	12,895,583	0
指定正味財産期末残高	12,895,583	12,895,583	0
III 正味財産期末残高	92,876,761	91,944,862	931,899

正味財産増減計算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計			法 人 計	決算合計 (A)	予算 (B)	(参考) 差異 (A-B)
	体験活動 他	会員のための 生涯教育事業	相互扶助 表彰新睦	共 通	小 計				
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
① 受取会員費 正会員受取会員費	16,969,792 53,900	484,851 1,540	242,426 770	727,277 2,310	6,545,491 20,790	24,242,560 77,000	24,280,000 100,000	△ 37,440 △ 23,000	
② 事業収益 研修会事業収益	114,184 0	57,093 0	0 0	57,093 0	0 0	171,277 0	1,300,000 1,700,000	△ 1,128,723 △ 1,700,000	
③ 受取寄付金 親睦会事業収益	320 1,636,640	0 0	0 0	0 0	0 0	320 1,636,640	500 1,700,000	△ 180 △ 63,360	
④ 雑収益 受取利息 広告収益 雑収益	0 18,774,836	92,246 635,730	0 243,196	92,246 0	391,000 878,926	1,636,640 483,246	600,000 600,000	△ 116,754 △ 116,754	
(2) 経常費用									
① 事業費									
給料手当 福利厚生費	786,906 125,787	138,866 22,198	231,443 36,996	370,309 59,194	1,157,215 184,981	1,175,000 185,000	△ 17,785 △ 19		
会議費 旅費交通費	1,376,337 162,213	131,659 15,213	663,828 2,568	795,487 17,781	2,171,824 179,994	5,300,857 933,422	△ 3,129,033 △ 753,428		
通信運搬費 減価償却費	2,281,852 936,190	19,862 6,786	0 3,393	19,862 10,179	2,301,714 1,139,621	2,136,154 1,280,000	△ 165,560 △ 119,339		
消耗品費 修繕費	1,125,376 234,240	14,245 0	0 0	14,245 0	1,234,240 84,421	1,234,240 180,872	240,000 10,670,812	△ 140,379 △ 176,856	
印刷製本費 光熱水料費	10,489,940 120,218	96,451 1,522	0 0	1,522 0	121,740 820,704	160,000 824,000	△ 38,260 △ 3,296		
管理費 倉庫使用費	169,344 21,047	0 0	0 0	0 0	169,344 21,313	176,000 56,000	△ 6,656 △ 34,687		
保険料 支払手数料	266 109,366	0 0	15,624 0	15,624 0	124,990 235,653	80,000 249,750	44,990 △ 14,097		
租税公課 慶弔費	235,653 0	0 0	0 26,400	0 26,400	26,400 307,213	200,000 2,000,000	△ 173,600 △ 1,692,787		
旅費 広報開催費	307,213 35,000	0 15,000	0 0	0 15,000	50,000 100,233	60,000 200,000	△ 10,000 △ 99,767		
研究助成費 原稿料	100,233 268,611	0 93,992	0 0	0 93,992	362,603 0	500,000 50,000	△ 137,397 △ 50,000		
諸謝金 図書費	0 23,677	0 809	0 2,837	0 2,837	0 26,514	0 408,067	△ 381,553 △ 6,420,437		
事業費計	19,729,907	556,869	1,066,701	0	1,623,570	21,353,477	27,773,914	△ 6,420,437	

2. 経常外増減の部

(1) 経常外収益

(2) 經常外費用

戶外常經期當

三 翱翔在外
他会計振

税洼地吸引人前当期一般税

弘光、江氏悅財
當期一般正味

一般正味財產期

指定正味財產增減
八月十五日

當指定期定意味指正財產產味正財期指定期

指定正味財產期元

財務諸表に対する注記

1 重要な会計方針

当法人は「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律」並びに「公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律」の関連する規定に基づき、「公益法人会計基準」（平成20年4月11日、令和2年5月15日最終改正 内閣府公益認定等委員会）を採用している。

(1) 固定資産の減価償却の方法

固定資産の減価償却は、次のように採用している。

有形固定資産 定額法

ソフトウェア 定額法

(2) 消費税等の会計処理について

消費税等の会計処理は税込方式により行っている。

2 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建　　物	25,932,830	0	673,580	25,259,250
土　　地	32,749,000	0	0	32,749,000
研修センター拡張等積立資産	0	20,000,000	0	20,000,000
小　　計	58,681,830	20,000,000	673,580	78,008,250
合　　計	58,681,830	20,000,000	673,580	78,008,250

3 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産	—	—	—	—
特定資産				
建　　物	25,259,250	—	(25,259,250)	—
土　　地	32,749,000	(12,895,583)	(19,853,417)	—
研修センター拡張等積立資産	20,000,000	—	(20,000,000)	—
小　　計	78,008,250	(12,895,583)	(65,112,667)	—
合　　計	78,008,250	(12,895,583)	(65,112,667)	—

4 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
特定資産			
建 物			
事務所マンション区分所有権	33,678,999	8,419,749	25,259,250
小 計	33,678,999	8,419,749	25,259,250
土 地			
事務所マンション敷地権	32,749,000		32,749,000
小 計	32,749,000		32,749,000
その他固定資産			
建物附属設備			
電気設備工事	170,000	140,476	29,524
スティールパーティーション	1,079,469	891,996	187,473
スライディング遮音ドア	1,702,082	1,406,482	295,600
小 計	2,951,551	2,438,954	512,597
什器備品			
会旗	1,650,000	1,649,999	1
データプロジェクター	379,050	379,049	1
X線測定器	551,250	551,249	1
映画用スクリーン	120,058	120,057	1
壁面収納	676,691	559,168	117,523
ロールスクリーン	218,449	218,448	1
寄付者名盤	500,000	490,000	10,000
プロジェクター	182,960	182,959	1
耐火金庫	378,525	178,220	200,305
プロジェクター	538,500	538,499	1
デジタルアンプ	277,580	277,579	1
事務用パソコン	418,737	287,881	130,856
小 計	5,891,800	5,433,108	458,692
電話加入権			
固定電話 (03-3806-7724)	10,300		10,300
ソフトウェア			
公益会計ソフト	518,400	267,840	250,560
小 計	528,700	267,840	260,860
合 計	75,800,050	16,559,651	59,240,399

5 重要な後発事象

該当なし

財産目録

令和 4 年 3 月 31 日現在

(単位: 円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)	現金 預金	手元保管 <普通預金> 三井住友信託銀行新橋支店 1 三井住友信託銀行新橋支店 2 みずほ銀行八重洲口支店 三井住友銀行日暮里支店 <振替貯金> ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として 運転資金として 同上 同上 同上 運転資金として <現金・預金計>	299,445 94,833 1,980,416 1,594,390 165,223 9,515,791 13,650,098
流動資産合計				13,650,098
(固定資産)				
特定資産	建物	マンション区分所有権 505号室 119.96m ² 荒川区西日暮里2-411-15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% <建物計>	25,259,250 19,828,513 378,887 5,051,850 25,259,250
	土地	敷地権 持分2,842.60m ² の100万分の8543 荒川区西日暮里2-411-15	(共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% <土地計>	32,749,000 25,707,965 491,235 6,549,800 32,749,000
	研修センター 拡張等積立資産	普通預金・定期預金 みずほ銀行八重洲口支店 三井住友信託銀行新橋支店	(公益目的保有財産) 資産取得資金 (普通預金) 資産取得資金 (定期預金) <特定資産計>	20,000,000 15,000,000 5,000,000 78,008,250
その他の固定資産	建物附属設備	電気設備工事 スティールパーテイーション スライディング遮音ドア	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <建物附属設備計>	29,524 23,619 5,905 187,473 149,980 37,493 295,600 236,481 59,119 512,597
	什器備品	会旗 1流 データプロジェクター1台 X線測定器1台 映画用スクリーン1台 壁面収納	(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0%	1 1 0 1 1 1 117,523 94,021 23,502

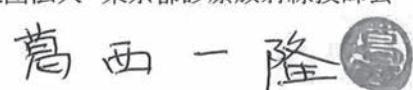
貸借対照表科目	場所・物量等		使用目的等	金額
什器備品	ロールスクリーン 1台 寄付者名盤 1式 プロジェクター 1台 耐火金庫 プロジェクター 1台 デジタルアンプ 1式 事務用パソコン 2台		(共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (共用財産) うち公益目的保有財産 78.5% うち収益事業等使用財産 1.5% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% (公益目的保有財産) (公益目的保有財産) (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <什器備品計> (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <電話加入権計> (共用財産) うち公益目的保有財産 80.0% うち管理目的使用財産 20.0% <ソフトウェア計> <その他固定資産計>	1 1 0 10,000 7,853 148 1,999 1 200,305 160,243 40,062 1 1 130,856 104,685 26,171 458,692 10,300 8,240 2,060 10,300 250,560 200,448 50,112 250,560 1,232,149
電話加入権	固定電話1件 : 03-3806-7724			
ソフトウェア	公益会計ソフト			
固定資産合計			うち公益目的保有財産 うち収益事業等使用財産 うち管理目的使用財産	79,240,399 66,522,056 870,270 11,848,073
資産合計				92,890,497
(流動負債)	未払金 預り金	㈱大塚商会 事務職員	コピー代 源泉所得税	7,016 6,720
流動負債合計				13,736
固定負債合計				0
負債合計				13,736
正味財産				92,876,761

2021年度監査報告

公益社団法人 東京都診療放射線技師会
会長 篠原 健一 殿

令和4年4月26日

公益社団法人 東京都診療放射線技師会
監事 

公益社団法人 東京都診療放射線技師会
監事 

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査しました。その方法及び結果について、次のとおり報告します。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査しました。以上の方針に基づき、当該事業年度に係る事業報告について検討しました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及びその附属明細書並びに財産目録について検討しました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に示しているものと認めます。

第3号議案 名誉会員推戴の件

定款第5条2号により、葛西一隆会員を名誉会員に推戴することについて、理事会より推薦があったので本総会にて承認の審議を行いたい。

会員氏名： 葛西 一隆

本会役員歴：	1988年4月～1997年3月（9年）	第15地区委員長（理事）
	1997年4月～1999年3月（2年）	学術担当理事
	1999年4月～2016年5月（17年）	副会長
	2016年6月～現在（6年）	監事

特記事項：	2017年6月	厚生労働大臣表彰
	2020年11月	旭日単光章

第4号議案 2022・2023年度役員選挙

役員選挙立候補者を、本誌4ページの告示に掲載しております。これをもって本議案の資料と致します。

日本診療放射線技師連盟 2022 No. 4 ニュース (通巻No.73)

発行日 令和4年4月25日
発行所 日本診療放射線技師連盟
〒108-0073 東京都港区三田1-4-28
三田国際ビル22階
TEL.070-3102-1127 FAX.03-6740-1913

連盟活動報告

- ① 3月28日(月) 国民に最善の医療を届けるために診療放射線技師を支援する議員連盟 設立総会(略称 放射線技師議連)に出席
- ② 3月30日(水) 畑元将吾活動報告会開催
- ③ 4月1日(金) 臨床検査技師連盟総会に出席
- ④ 4月7日(木) 自民党各種団体協議会懇談会に出席
- ⑤ 4月9日(土) 衆議院広島2区選出「平口ひろしと明日を語る会」に出席
- ⑥ 4月11日(月) 根本匠シンポジウムに出席
- ⑦ 4月15日(金) 医療技術者団体協議会に出席
- ⑧ 4月21日(木) 中川俊夫日本医師会会长、橋本岳衆議院議員との面談



自民党は、診療放射線技師の果たしている役割や責任に見合う適正な「評価」「待遇」「配置」の実現を目指す有志議員による「放射線技師議連」の設立総会を開催しました。



事務局からのお願い

本連盟の年度は1月から12月となっております。
2021年第2回理事会において、年会費は一律 2,000円となりました。
また、寄付によるご支援も隨時受け付けております。

郵便局備え付けの振込取扱票を使用してお振込みの場合

→ 口座記号・口座番号 00100-2-667669

ゆうちょ銀行に直接お振込みの場合

→ 店名(店番):019 当座預金 口座番号:0667669 加入者名 日本診療放射線技師連盟

Pipe line

パイプライン



【会期】2022年 6月25日(土) 26日(日)

【学会会場】 Gメッセ群馬(予定)

【主催】

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会
一般社団法人 山梨県診療放射線技師会
一般社団法人 栃木県診療放射線技師会
公益社団法人 神奈川県放射線技師会
公益社団法人 茨城県診療放射線技師会

公益社団法人

日本診療放射線技師会

一般社団法人 千葉県診療放射線技師会
公益社団法人 埼玉県診療放射線技師会
一般社団法人 長野県診療放射線技師会
一般社団法人 新潟県診療放射線技師会
公益社団法人 東京都診療放射線技師会

大会長 後閑 隆之

一般社団法人 群馬県診療放射線技師会会长

実施 一般社団法人 群馬県診療放射線技師会

会員動向

2022年4月期

年 月	月末会員数	新 入	転 入	転 出	退 会
2021年度末集計	2,321	183	26	26	101
2022年 4月	2,354	32	8	4	3

学術講演会・研修会等の開催予定

日時、会場等詳細につきましては、会誌でご案内しますので必ず確認してください。

2022年度

1. 学術研修会

- ☆第20回サマーセミナー 未定
第23回メディカルマネジメント研修会 未定
☆第20回ウインターセミナー 未定

2. 生涯教育

- 第71回きめこまかな生涯教育 未定

☆3. 日暮里塾ワンコインセミナー

- 第135回日暮里塾ワンコインセミナー（フレッシャーズセミナー合同開催） Web開催

2022年 6月 5日 (日)

- 第136回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2022年 6月 7日 (火)

- 第137回日暮里塾ワンコインセミナー Web開催 2022年 7月 14日 (木)

☆4. 第22回東放技・東京部会合同学術講演会

未定

5. 集中講習会

- 第13回MRI集中講習会 未定

☆6. 支部研修会

- 城東・城西・城南・城北・多摩支部研修会 未定

7. 地区研修会

- 第1地区研修会 Web開催 2022年 6月23日 (木)

8. 特別委員会研修会

- SR推進委員会研修会 未定

9. 地球環境保全活動

- 荒川河川敷清掃活動 未定

☆印は新卒かつ新入会 無料招待企画です。

(新卒かつ新入会員とは、技師学校卒業年に技師免許取得し本会へ入会した会員をいう)

News

6月号

日 時：2022年3月23日（水）
午後7時00分～9時45分
場 所：インターネット回線上
出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、
江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
竹安直行、浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、
宮谷勝巳、渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一
出席監事：野田扇三郎、葛西一隆
指名出席者：島田 諭（第2地区委員長）、小林隆幸（第4
地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊
佐理嘉（第6地区委員長）、中西雄一（第8地
区委員長）、千葉利昭（第11地区委員長）、小
野賢太（第12地区委員長）、大津元春、名古
安伸、吉村 良、宇津野俊充、上田万珠代、
村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）、
新川翔太（総務委員）
欠席理事：なし
欠席監事：なし
議 長：篠原健一（会長）
司 会：麻生智彦（副会長）
議事録作成：村山嘉隆、青木 淳、新川翔太

会長挨拶

本日はご多忙の中、ご参集いただき感謝する。1月の臨時理事会からの案件に関して、時間的制約や説明不足により、ご迷惑やご心配をおかけして大変申し訳ない。本日は議案に入る前に昨年12月16日付の東京都からの照会内容、1月25日の臨時理事会で承認いただいた資産取得資金積立に関する東京都への回答、また、その後の経緯や対応理由について繰り返しになるが、今一度説明をさせていただきたい。各地区から大変貴重なご意見ご質問が届いているので、同じ内容のものも敢えてまとめずに、各地区の項目ごとに、後ほど回答させていただく。重複するところも多々あるが、大切な案件なのでよろしくお願いする。

現在、何もしなければ過去2年度分の収支相償をクリアできておらず、このままでは本年度も同じようになる。一般的な企業であれば、収支が黒字なら短期の設備投資やボーナス支給などの対応があると思うが、公益社団法人の場合、遊休財産額は来年度の会費の減額や会費の返却には使えず、収支相償の黒字分は今後の公益目的事業に使われるべきものである。将来の会費の増減については、将来的な収支の変化や会員数の変化を鑑みて、今後別に検討することが必要であると考えている。公益社団法人としての法的要請がある中で、いくつかの解決策の中から資産取得資金の積み立てを提案した。経緯および理由を後ほど詳しく説明するが、東京都に対しては何に使うかが明確になっていない資産としてストックする

というのは全く通用しない。漠然と公益目的資産の取得というだけでも通らない。たとえ実現想定が10年後であっても現時点においてある程度の具体的なプランの提示が必要となる。このことが現事務所の拡張や多摩地域付近にサテライト施設の取得というような内容で、あたかも決まったことというイメージで伝わっていたとしたら、こちらの説明不足である。大変申し訳ない。例えば、10年後に向けて公益目的財産の取得の方針で検討をしても、10年後に組織編成や社会情勢がどう変化しているかは予測ができない。そのことも含めて今後、検討をしていくつもりである。コロナ禍も含めてさまざまな不測の事態があったが、法律に対してこれを言い訳にはできない。本年度でこの問題に一旦決着をつけておかないと、収支相償は3年連続の未達成となり、これを放置すれば公益社団法人としての存続も難しくなる。あと9日で新年度となるので、組織を前に進めるために、この後のご質問ご意見回答含めて、ご審議のほどよろしくお願いする。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

報告事項

1) 東京都からの照会における事案説明

公認会計士の高山先生の話をふまえて“東京都からの照会における事案説明”という資料を作成した。以

下、資料内容を記載。

東放技が行っている事業内容そのものが問題とされているわけではない。公益目的事業は利益を生み出すものではないという、法律上の位置づけがある。この2年間は、コロナ禍のために公益目的事業が十分に行えず、そのため黒字になってしまったという特殊事情があったが、都からは法制度に基づき指摘を受けたということが最大の要因である。執行役員も、これまで無対応の状況であったのではなく、公認会計士に依頼して、2021年4月19日に東京都生活文化局に参考意見を教示いただくために問い合わせを行い、本会の状況を説明申し上げていたことを付け加えさせていただく。

公益社団法人とは

本会は、公益社団法人である。公益社団法人は、公益目的事業を主な目的で活動している法人である。つまり、自法人や会員の利益追求が主たる目的ではなく、社会や都民の利益のためにさまざまな事業を行う団体である。本会は、体験活動、相談、講演セミナー、研修会及びホームページや出版物による情報の提供による都民への知識の普及を事業として、公益法人として活動する団体である（公益認定申請）。

今回の照会事項

東京都生活文化局都民生活部管理法人課からは、
(1)「遊休財産額の保有の制限」を満たさなかったこと。
(2)「収支相償」を2カ年連続して満たさなかったことについて照会があり（令和3年12月16日付発送）、今後の対応策を検討した。回答期限は令和4年1月28日（金）であった。

具体的な内容

(1) 遊休財産額の保有制限とは

年度末において保有する遊休財産額がその年度の公益目的事業会計における経常費用額を超えてはならない。つまり遊休財産額が公益目的事業会計の年間事業費の額を超えては不適合とされる。公益目的事業に使用することが明確化されていない財産を多額に法人に留保することは適当でないということである。

⇒平成29年度までは、日暮里事務所取得の借入金残高（返済）もあったため遊休財産額は横這いで推移していたが、完済後、徐々に増加に転じている。保有してもよい遊休財産額は、1年間の公益目的事業の費用相当額が目安であり（本会の公益目的事業費は年17,000千円～20,000千円程度に対し、遊休財産額は30,000千円程）、現時点でこれを超過している。

(2) 収支相償とは

公益目的事業について、当該公益目的事業に係る収入がその実施に要する適正な費用を賄う額を超えない。つまり公益目的事業に対しての収益が費用を超えてはならない。また、超えた場合は次年度に繰り越され、その繰越超過額を含め次年度以降において費消が求められる。

⇒本会は、令和元年度の、関東甲信越診療放射線技師学術大会（公益目的事業）の開催に伴い、総収益が増大した関係で、公益目的の支出金額も大きくはなったが、最終的に収支が黒字となった。更に、令和2年度において、この令和元年度の黒字分も含めて費消の予定であったが、コロナ禍の社会情勢となって公益目的事業の活動が思うように展開できなくなり、2年連続で黒字となってしまった。

*「遊休財産額の保有の制限」、「収支相償」、及び「公益目的事業比率（公益目的事業の費用が法人全体の費用の50%以上でなければならないという基準であり、つまり公益目的事業がメインの事業であること）」は、財務3基準と言われ、公益法人の重要な要件になっていることを認識していただきたい。

(1) が過大保有、(2) が2カ年連続の黒字ということで、今後ただお金を使っていけば良いということではない。公益性に見合った検討と対策が必要である。

対応策（内閣府公益認定等委員会より）

この2点（遊休財産額の保有制限、収支相償）は互いに独立しているのではなく、相互に関連性がある。これを解消する方策として、

- ①既存の公益目的事業の規模拡大 → 進めていく。
- ②新たな公益目的事業の実施 → 認定申請が必要。時間的に余裕がない。
- ③公益目的保有財産の取得 → すぐに大型の財産取得は考えにくい。
- ④特定費用準備資金の積立 → 検討したが、今すぐ回答ができる状況ではなかった。
- ⑤資産取得資金の積立 → 進めていく。
- ⑥その他 → 会費の調整 → 本年度からの実施は困難。

執行役員として

執行役員は、この黒字状況が恒常的にも構造的にも発生するとは考えていない（学術大会とコロナの影響が大きかった）。先ず、東京都からの照会事案を解決することを目的に、この2年分とこれからの年度において無理なく積立を行うことで、将来、診療放射線技師及び技師会の繁栄のために使える資金を保持できる

のではないかと考えている。本年度から実施可能な方策として、既存の公益目的事業の規模拡大（本年度は、令和4年1月の試算では、△1,654,797円の費用超過の見込）と研修センター拡張または新規サテライト事務所の設置計画（遊休財産額の保有の制限をクリアするため、14,000千円の積立）を理事会に提示した。

3月16日時点では、上記1月時点の試算よりも費用超過の見込みが減少し、遊休財産額の残高が増加する見込みになったため、20,000千円の初回積立とした内容で議事に提出する予定。

これからコロナ禍の状況が好転するとも、そのまま続くとも誰も予想はできない。研修センター拡張または新規サテライト事務所の設置の2本立てを計画することで、改良を含む既存の研修センターの拡張にも、東京の西地区へ会員のためになるサテライト事務所開設（東京は東西に長いので、西地区の会員の拠点的役割を担うことができるような環境整備も含む）でも使え、更には都民への講演会等の開催も視野に入れた拡充計画の資金を蓄える意味でも重要な決断であったと考える。

公益社団法人として、更なる公益目的事業の充実を踏まえて、皆さまのご理解、ご協力をお願い申し上げる。

神奈川県も東京都同様に収支相償、遊休財産額について悩んでいる状況であるとのこと。

上記の内容を地区委員、地区会員にも説明をしていかなければならない。

質問①

千葉利昭 第11地区委員長：

先を見据えて二本立てで組み立てるということだが、例えば10年後20年後に違った目的で使用することは難しいのか。

→篠原健一 会長：

10年後は組織編成も社会情勢も分からぬ。例えば不動産を取得しようとしても価格が上がってしまう可能性もある。10年後20年後はいろんな要素が変わっている。しかし、現在の東京都に報告する段階では、明確な目的を持った、ある程度の具体的な案を挙げないといけない。

→野口幸作 庶務委員長：

積み立てを会員に還元することはできない。明確な理由があれば、公益目的に使用するという分類はできると考えている。会費減免等については使用できないという状況である。

→千葉利昭 第11地区委員長：

将来的に会費の減額は可能か。

→篠原健一 会長：

日本診療放射線技師会が1,000円の会費減額をしたが、日本診療放射線技師会の事情としては賃貸料が何千万単位で減らせたので可能だった。今後、仮に会務運営の中で同様な大きなことがあれば減額を、逆に会員数が減り増額をしなければならない状況になるかもしれない。今後、会費に関しては今回の件とは全くの別次元で検討しなければならないと思っている。

質問②

中西雄一 第8地区委員長：

2021年4月19日の参考意見の前に2020年の10月に相談したという話をいただいたが間違いないか。それからすると、昨年度は難しかったかもしれないが、本年度は、総会の際に余剰金に関して最低でも2021年の5月くらいの理事会には状況説明ができたのではないか。

→野口幸作 庶務委員長：

相談というのは、このままでは公益目的の3基準をクリアできない可能性があるが、どうするかというレベルの相談である。先ほどの対応策6項目を、機械的に説明を受けたという状況である。

→中西雄一 第8地区委員長：

半年くらい前に状況説明できなかったのか。

→野口幸作 庶務委員長：

公認会計士の高山先生と監事と五役の間で、中間監査でそのような状況の見通しであるという話があった段階で、そこまでいきつけなかったのが現状である。

→篠原健一 会長：

2020年の段階では、コロナの状況が改善するか分からない状況の中で、クリアできる可能性があったため、相談した段階で止まっていた。

質問③

中西雄一 第8地区委員長：

具体的な内容としての（1）に、平成29年度までは日暮里事務所取得の返済があったためと記載があるが、その時点で完済したあとの費用の借入金の金額に関しての用途がありますかという質問が総会にてあったと思うが、それに対して検討している旨の返事をされたと思う。執行役員としての部分に無理なく積立を行うと記載があるが、借入金の残高を無理なく積み立てを行うとして考えるのであれば、2,000人くらいの会員に対して、220万ぐらいのお金が浮いたという時

点で、会費を減額するという想定はできなかったのか。

→篠原健一 会長：

無理なくというのは、今後について無理のない範囲で積み立てていくということである。総会で質問のあった、返済が終了した後というのは減額のことを含めて検討をしたが、債務があるときの予算立てと債務がないときの予算立てを考慮した結果、その段階では、会費減額まではまだできないと判断した。

質問④

関谷 薫 第16地区委員長：

東京都から2年間言われていたということだが、1年目に言われた時の執行部としてはどのように考えていたのか。他の都道府県の技師会と情報共有して話し合いはなかったか、他の都道府県の技師会がどのように対応しているのか、具体的にやっているところがあれば教えていただきたい。

→篠原健一 会長：

1年目のときは相談をしたが、まだ具体的に照会ということにはならなかった。2カ年続いてしまったことにより、そこで初めて東京都からの照会、指導があった。他県に関しては、具体的な話し合いまではしていない。日本診療放射線技師会の理事会でも原因は全く同じというわけではないと思うが、収支相償の問題があるという話は出ていた。

2) その他

研修センター拡張または新規サテライト事務所の設置計画および資産取得資金積立ての件についての各地区からの意見・質問に対する回答が鈴木総務委員長よりなされた。

質問①(第1、3、8、9、10、11、12、13、14地区)

・会費減額、割引、無料化(会員への還元)や他の事業に使用(事業拡大)することはできないのか？
→今回東京都から指摘、指導されたところは、収支相償と遊休財産であった。皆さまからいただいている貴重な会費ではあるが、公益目的事業に使用する目的のお金であるため会費減額をすることでの回答はできなかった。ただし、公益事業目的である研修会参加費などへの反映等は検討できると考えている。また、ご提案いただいたさまざまな方法が実現可能かどうか理事の皆さまと検討させていただきたい。事業拡大については、東京都へ拡大する旨回答しているので、皆さまと一緒に都民そして会員のためになる事業を展開できればと思っている。

質問②(第1地区)

・積み立ての名目を「東京都診療放射線技師会事務所および研修センター拡張計画のため」としたらどうか？
→既に理事会資料を配布させていただいたため、現状の名目で進めさせていただく。正式な名称としましては、「研修センター拡張等積立資産」である。

質問③(第3、11、13、16地区)

・仮に事務所を購入したとした場合の購入後の具体的な使用頻度や運用方法は？
→現時点の運用としては、事務員を置くような管理を含めた運用は考えていない。公益事業(市民公開講座や各種研修会での利用)を主な目的としているが、こちらも具体的な使用頻度や運用方法などは、一緒に検討させていただきたいと思っている。

質問④(第3地区)

・公益社団法人で購入した物件を賃貸に回しても問題はないのか？
→公益社団法人の主たる活動としては認められないが、然るべき東京都への申請と承認がされれば、その他事業として行うことは可能である。

質問⑤(第8地区)

・事業拠点の取得についてはいつから検討していたのか。3年前の総会で日暮里の事務所のローン完済後のローン返済分の予算については特に言及はなかったと記憶している。
→執行役員内で検討し始めたのは、日暮里事務所の借金返済が完了してからである。執行役員内で日暮里事務所拡張(他の区画・部屋を購入または賃貸するかなど)の議論はあったが、今回東京都からの公益社団法人としての照会が入り、それに対応する方法として今回の案が進んでいったという経緯になる。

質問⑥(第8、12、13、16地区)

・賃貸の検討はしたのか？ また賃貸やレンタルはできないのか？
→東京都からの照会に対する回答としては、対応できる方法ではなかったため検討できなかった。

質問⑦(第8地区)

・全会員に問う案件ではないか？
→今後の理事会や総会などで十分に議論と検討を行い、必要と判断されれば全会員に問うことも考えていく。また、実際に予算を執行する(資産を購入する)場合は総会決議が必要な案件であると考えている。
・実際に物件を購入する予定の10年後に、どのような状況になっているか分からぬため、「公益社団法人

「東京都診療放射線技師会特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱規程」の中に、物件を購入する前に全会員の承認を必要とする条項を設けても良いのではないか？

→規程に関しては、ご意見いただいた条項の必要性（規程の変更）を定款諸規程等検討委員会はじめ、関係者の皆さまと議論させていただければと考えている。

質問⑧（第8地区）

・今後、日本全体の人口減少に伴う会員数の減少も想定されるため借入金などで予算の硬直化を行うべきではないのではないか。

→現在会員数は、皆さまのご協力のもと右肩上がりの増加傾向を示している。もちろんご指摘の事態も想定されるが、われわれの会員動向からの情報を基本に対応していく予定である。

質問⑨（第9、13地区）

・拡張の必要性があるのか、サテライトオフィスが必要なのか？

→東京都からの指摘に対する回答の一案として提出させていただいているもので、決して当会の公益事業展開に関して無理に行っているというわけではないことはご理解いただきたい。サテライトオフィスありきではなく、事務所改修、新事務所移転など、今後の状況を皆さまと検討させていただければと思っている。

質問⑩（第11地区）

・サテライトオフィスの設置は多摩地域に決定されたのか？決定されたのでしたら、その経緯の説明をお願いしたい。また、研修センターの拡張も予定されているのか？

→決定はしていない。ある程度具体的な数値を算出するための根拠が必要であったため、あくまで日暮里を東京の東側と捉え、東京の西側として検討している。条件によっては研修センターの拡張や、今回の案には出でないが、日暮里事務所の売却とセットで、新事務所へ移設するなども今後検討する候補になる。

質問⑪（第11、13地区）

・総会での審議をすべきではないのか？総会時に会員からの反発があるのではないか？

→具体的に購入となった場合は、総会での決議（審議）が必要とわれわれも考えている。会員（代議員）の皆さまにご納得いただけるような議案を今後の理事会を中心に練っていきたいと考えている。

質問⑫（第13、14、15、16地区）

・今回の案件（余剰金が解消できなかった理由や事務所

拡張計画）に関する丁寧な、具体的な説明、会員が納得する意義の説明が必要では（案件の目的が不明）？

→報告事項 東京都からの照会における事案説明にて改めて説明をさせていただいた。

・他団体が利用することは可能なのか（第13地区だと多摩放技の研修会開催等）？日放技の事務所は鈴鹿のサテライトや部会などが使用することがあるとのこと。

→現在の事務所運用と同じであると考えていただきたい（東放技会員が都民の医療のために関連した内容であれば、現在でも使用していただいている）。

・多摩地区会員の利便性向上などについて

（第8地区からの要望で第12、13地区からの回答）

→第12地区（西武線沿線）から移動する場合、縦の路線がない三鷹駅周辺だと、日暮里駅までの移動時間とあまり変わらない。国分寺・立川・八王子などであれば第12地区を含め、多摩地域の会員の利便性は向上するのではないか。

→第13地区においては中央線沿線になれば、確かに利便性は向上する。告示研修の常設会場とすることができるなら、会員数の多い東京の研修会回数も増やせると思われる。その点では良いのかもしれない。多摩エリアの会員にとっては、とても有用な拠点になる。

質問⑬（第13地区）

・サテライト設置の発想ができるほど資金が潤沢であるのではないか？

→借入金も用いた計画であるため、潤沢とは申し上げにくい状況であることはご理解いただきたい。

質問⑭（第14地区）

・新しい事務所を持つことで会費の値上げや負担が増すのではないか？

→会費への負担や、会費の値上げにはつながらないのでご安心いただきたい。

質問⑮（第16地区）

・多摩地域の利便性向上のため、多摩地域にサテライトオフィスを設置する計画があるが、第16地区埼玉方面にとっては、全く利便性のない施設となる。使用することはないと考える。今後、埼玉・千葉・神奈川方面への設置も検討するのか？

→説明が十分ではなかったことは申し訳ない。前述したが、多摩地域に限って計画しているのではないことはご理解いただきたい。東西に長い東京都を考えたときに、日暮里を東側の拠点と捉え、西側にサテライトとして具体的な金額を算出するための案を計画したということでご理解いただきたい。

質問⑯(第16地区)

- ・会員のメールアドレスを活用して、メタバースのような各技師会会員が東京都診療放射線技師会に入会してよかったですと思える、日々のつながりをもてるようなコミュニティを作成、運用することに予算を使用してみてはどうか。
- ご提案感謝する。今後地区委員長そして理事の皆さんと共に、有益な事業を展開させていただけるようにしていきたいと思っている。

議 事

1) 特定費用準備資金等取扱規程について

野口幸作 定款諸規程等検討委員長：

公益社団法人および公益財団法人の認定等に関する法律と法律施行規則の内容を網羅したものである。原案は公認会計士の高山先生に作成していただき、定款諸規程等検討委員会および専門部委員会で文言などの修正を行った。規程の内容に関しては配布した資料の通りである。ご審議をお願いしたい。

中西雄一 第8地区委員長：

取扱規程第3章資産取得資金第8条3項の「前項にかかわらず、目的外の取崩しを行う場合には、会長は、取崩しが必要な理由を付して理事会に付議し、その決議を得なければならない。」に関して、目的外の取崩しを行う場合に、会長以外の者が理事会や総会などで付議することは想定していないのか。

野口幸作 定款諸規程等検討委員長：

会員や地区委員長、理事から資産取得資金の目的外の取崩しを理事会で付議するということか。

中西雄一 第8地区委員長：

10年後に物件を取得することを目的とした場合に、異議がある会長以外の者が、別の目的の支出のために理事会等で付議することが可能なのか。総会において、会員が付議することもできるように改訂するべきではないか。目的外の取崩しに関して、会員が何かしらの意見を述べることができるシステムを作る必要があると考えており、地区質問でも記述した。五役会で規程に関する審議は十分に行われたのか。

鈴木雄一 総務委員長：

目的外の取崩しに関して、会員が理事会で何らかの意見を上げるためのルートがあればよいということか。取り崩しを行うには会長が理事会で付議をし、決議を得なければならない。理事会で付議を行うので、地区質問、意見等で会員の皆さんからの意見を拾い上

げることはできる。

篠原健一 会長：

理事会において付議をすることが会長であり、会長が取り崩しを決定するわけではない。取り崩しを決めるのは理事会である。理事会で付議を行うまでに、地区質問等で意見を上げるのはこれまでも行われており、問題ないという認識である。

中西雄一 第8地区委員長：

理事会以外で、目的外の取崩しに関して会員が意見を上げることはできないのか。総会で付議を行うことはできないのか。

野口幸作 定款諸規程等検討委員長：

ガバナンス上の問題で、会長が付議を行うのが基本的な考え方であり、地区質問などの意見を踏まえて決議を行うのは理事会である。

中西雄一 第8地区委員長：

目的として物件を購入する場合に、理事会等で審議を行うかと思うが、反対するためには総会で発議をした際に代議員として投票するしか方法はないのか。

野口幸作 定款諸規程等検討委員長：

支部長が理事であるため、地区委員長の意見を無視しているわけではない。地区委員長も毎回理事会には参加していただいており、意見を上げられる仕組みとなっている。

中西雄一 第8地区委員長：

現在委員長の立場にある私が将来的に会員に戻った場合に、この議題に反対する方法があるのかということである。

篠原健一 会長：

重要なのは会長が付議を行うことではなく、目的外の取崩しを行うには理事会の決議が必要ということである。付議を行った際に、地区委員長や理事が意見を述べるのは自由である。

中西雄一 第8地区委員長：

実際に10年後に物件を購入する際に私が反対する場合、目的外の取崩しに関して意見を提出できるのは総会という認識でよいのか。

篠原健一 会長：

それは総会でも地区委員会でも可能である。

渡辺靖志 SR推進委員長：

現状では総会では代議員制を用いており、各地区的会員数に応じて代議員数を決定している。各々の会員の意見を平等に拾い上げるのが代議員制の前提となっており、会員の意見が地区委員長から支部長である理

事へ提出される構造となっているのはご理解いただきたい。一人一人の意見をどう収拾するかは、現状では地区委員会の場であると考えている。総会で代議員制を用いている現状において、地区委員会や定款諸規程委員会、理事会があり、意見を集約させる体制になっていると認識している。

上記について審議した。

【承認：19名、保留：1名、否認：0名】

2) 研修センター機能等拡充計画および資産取得資金積立ての件について

鈴木雄一 総務委員長：

東京都からの照会に対して具体的な案を提示するため、本計画を提案した。詳細な内容に関しては資料の通りである。提案する計画として、1) 研修センター（現事務所内）の拡張、または新規サテライト事務所の設置、2) 当該拡張または設置のための資金計画（資産取得資金の積立ておよび借入計画）である。今回は新規サテライト事務所設置の場合とし、主に都内西部の会員の利便性を考慮した地域で、120m²から140m²の面積約6,000万円・約120m²の物件を算定根拠に資金計画を行った。資産取得資金の積立てとして、2021年度の積立てが2,000万円であり、2022年度から2031年度までの積立てが1,000万円、金額の総額は3,000万円である。残りの3,000万円は借入金となり、10年で返済した場合では月額256,354円、15年で返済した場合では173,029円となる。現在の日暮里の事務所の

月額返済額が約20万円であることを踏まえた返済計画となっている。ご審議をお願いしたい。
上記について審議した。

【承認：18名、保留：2名、否認：0名】

連絡事項

関谷 薫 第16地区委員長：

立候補届について、署名をいただくのが新型コロナウイルスの影響で非常に困難であり、1枚でなく複数となってしまうのは問題ないか。署名を集めるのに、3月26日に研修センターを使用することは可能か。また4月からの新しい地区名簿をいただくことは可能か。

野口幸作 庶務委員長：

立候補届は複数間になんでも問題ない。研修センターについては使用可能である。地区名簿に関しても新しい地区名簿を既に用意している。

今後の予定について（総務委員会）

本日の内容に関して、議事録作成にはお時間をいただきたい。下半期の事業に関して、事業報告がございましたら4月初めまでに提出をお願いしたい。また、新しい地区委員の名簿に関しても提出をお願いしたい。次回の理事会に関して、新地区委員長で参加が不安な方は、現地区委員長に理事会のアクセスコードを送付するのでご連絡をいただきたい。

以上

News

6月号

日 時：2022年4月7日（木）
午後7時00分～8時10分
場 所：インターネット回線上
出席理事：篠原健一、白木 尚、麻生智彦、石田秀樹、
江田哲男、鈴木雄一、野口幸作、関 真一、
竹安直行、浅沼雅康、高野修彰、市川篤志、
宮谷勝巳、渡辺靖志、市川重司、平瀬繁男、
原子 満、鮎川幸司、関谷 薫、長谷川雅一
出席監事：野田扇三郎、葛西一隆
指名出席者：増田祥代（第1地区委員長）、島田 諭（第2地区委員長）、布川嘉信（第3地区委員長）、上田 万珠代（第4地区委員長）、中田健太（第5地区委員長）、伊佐理嘉（第6地区委員長）、富丸佳一（第7地区委員長）、大津元春（第8地区委員長）、西郷洋子（第9地区委員長）、澤田恒久（第10地区委員長）、名古安伸（第11地区委員長）、吉村 良（第12地区委員長）、小林隆幸（前第4地区委員長）、千葉利昭（前第11地区委員長）、小野賢太（前第12地区委員長）、和久井菜奈（総務委員）、村山嘉隆（総務委員）、青木 淳（総務委員）
欠席理事：なし
欠席監事：なし
議 長：篠原健一（会長）
司 会：白木 尚（副会長）
議事録作成：村山嘉隆、青木 淳

会長挨拶

2022年度の第1回理事会にご参集いただき感謝申し上げる。新年度ということで各地区、専門部委員会の体制など大きく動くこともあるかと思われるがよろしくお願ひしたい。TARTの組織としての新執行体制は6月の第73回総会で決まり、2カ月半ほどの時間差があり本日の理事会参加構成など多少複雑になるがよろしくお願ひしたい。今週の火曜日に昨年の11月に行われた第37回の診療放射線学術大会、AACRT、EACRT学術大会の監査が終了した。JARTの監査監事の先生から事業報告、経理報告について講評があり初めてのハイブリッド開催について労いとお褒めの言葉をいただいた。実行委員長はじめ実行委員の皆さま、会員の皆さまにご協力感謝申し上げる。本年度もよろしくお願ひしたい。

理事会定数確認

出席：20名、欠席：0名

前回議事録確認

前回議事録について確認を行ったが修正意見はなかった。

報告事項

- 1) 篠原会長
 - ・昨年に引き続き今年も外部の方を入れない卒業式が多く、今年の卒業式参列は東京電子専門学校の卒業式のみであった。
- 2) 副会長
白木副会長
 - ・月末から日本診療放射線技師連盟の活動が活発となってきたので、今後皆さんに情報共有させていただく。
- 3) 総務：鈴木理事
 - ・活動報告書に追加なし。
- 4) 経理：関理事
 - ・活動報告書に追加なし。
- 5) 務務：野口理事
 - ・活動報告書に追加なし。
- 6) 専門部委員会報告
 - ・活動報告書に追加なし。
- 7) 各委員会報告
 - ・活動報告書に追加なし。

6) 地区委員会報告

- ・活動報告書に追加なし。

7) その他報告

鈴木雄一 総務委員長：

演題派遣させていただいたSRTA学術大会について、SRTAの会長からお礼の品と感謝のメールをいただいた。演題発表をしていただいた学術委員会の皆川委員、第12地区の小野前委員長にお礼の品と発表の証明書、抄録集が送られてきているので報告させていただく。

議 事

1) 事業申請について

①第136回日暮里塾ワンコインセミナー

テーマ：骨密度検査の基礎知識と最新情報

日 時：2022年6月7日(火) 19:00～19:40

場 所：Web開催

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

②第1地区研修会

テーマ：線量管理の各施設の現状

日 時：2022年6月23日(木) 19:00～20:30

場 所：Web開催

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

2) 定期総会での表彰受賞者について

高野修彰 渉外委員長：

総会で表彰される小野賞7名、労働奨励賞12名(一部確認)、学術奨励賞1名、新人奨励賞2名を3月の表彰委員会で基準を満たしている確認をした。

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

3) 地区委員および専門部委員申請について

鈴木雄一 総務委員長：

配布資料より委員新任とさせていただく。任期は2年で、次回の新任変更は10月の理事会承認で決まるので9月までに申請提出のご理解をお願いしたい。

野口幸作 庶務委員長：

今回の承認により委嘱状の準備をさせていただく。

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

4) MRIを安全に考える会アンケートについて

鈴木雄一 総務委員長：

一般社団法人安全なMRIを考える会で現在、問診に関してのアンケートを全国で行いワークショップを行って、できるだけ多くの意見をいただきたいと東

京都診療放射線技師会のホームページにリンク掲載の依頼になる。また4月30日までと期間が短いので皆さまのご協力および広報をお願いしたい。

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

5) 新入退会について

3月：新入会1名、転入1名、転出5名、退会34名、

滞納退会25名

上記について審議した。

【承認：20名、保留：0名、否認：0名】

地区質問、意見

第3地区：

〈意見〉

繰り返しになるが会員は資産など求めていないと思います。求めているのは会費の減額と思われます。JARTも減額をしました。事務所も縮小しました。JSRTも減額しました。2022年度から専門部会も無料になります。何故、TARTだけ箱ものを買う計画や事務所の移転、改修など時代に逆行するのか理解できません。この計画が公益に見合うと思えませんし、会員にメリットがあるとは思えません。逆に無駄なローン、無駄な固定資産税に会員の会費を使うのが理解できません。東京都の質問に早急に回答したとしか思えません。これでは会員が納得するはずなく、怒りの顔が目に浮かんできます。東京都から言われたからといって一般会員は納得すると思うのでしょうか。今までのTARTの無策により、会員の会費を無駄に使ってしまうことになります。私はTARTが嫌われたくないです。反発を買い技師会離れがすでに始まりつつあります。過去のJART時代に逆戻りし、執行部の為にあるTARTとしか思えません。

〈要望〉

下記の購入をお願いします。

- ・サーベイメーターの購入
- ・線量計の購入(一般撮影、乳腺、CT チェンバー、散乱線用)
- ・上記、CT用吸収線量測定ファントム
- ・CT用性能評価ファントム
- ・MRI用性能評価ファントム
- ・一般撮影用性能評価ファントム
- ・告示研修用ファントムの購入(東京都で所有)
- ・超音波装置の購入
- ・その他

許される範囲で遊休財産額を保持し余剰金でファンタム等の購入を要望します。性能評価ファンタム、線量計などを持ち合わせていない施設が多数だと思います。TARTで購入して貸し出し、使い方が分からぬ施設へは運営委員、学術・教育委員の中に精通した人間がいますので教えに行けばいいと思います。公益にもなり会員にもメリットになり喜ばれると思います。1年で余剰金が解消され無駄なローン、無駄な固定資産税を払う必要はなくなり、次年度から減額の議論が可能となります。

→篠原健一 会長：

新年度となり、すでに予算執行が済んでいる案件のため、意見前半部分については前回の議事録をもう一度お読みになっていただきたい。後半要望部分については、前段と連動しているものであれば現段階でお答えできることはないが、今年度以降の予算執行ということであれば妥当性、有用性、有効性、需要等を検討することについてはやぶさかではない。ご提案を感謝する。

第6地区：

今回の代議員総会も書面表決となります。書面表決では代議員制度にした意味がなくなってしまうのではないか。またWebなどを利用した総会も選択肢の一つになるのではないか。

→篠原健一 会長：

会員による書面表決ではなくて、代議員による書面表決であることをご理解いただきたい。代議員の対面での総会ができれば良いが、時世を鑑みて、この方式にせざるを得ないことは断腸の思いである。ご提案のようにWeb開催ということも考慮したが、通信状況による音声不具合やさまざまの問題がある。この件に関して総務委員長からの補足をお願いする。

→鈴木雄一 総務委員長：

全員が通信環境の良い場所にいる状況で、採択時に良好な通信状況が続けられる状態が担保されれば良いが、ご自宅での参加や、何かしらの通信トラブルで採決時に通信できなかった場合、約70名の代議員のうちの1票が非常に大きく影響する可能性があり、あらゆる状況を確認せずにWeb開催はできないと判断した。リスクがゼロにはならないということ、コロナ禍の現状で書面表決という総会の運営の方法に本年度はさせていただく。ただ、実際に通信状況が担保される技術が可能であれば、前向きに行っていきたい。広い会場を借りることができれば現場で対面での総会の開

催も視野に入れたい。

→伊佐理嘉 第6地区委員長：

意見を言いたい代議員もいると思うので、Web開催や会場開催の検討をお願いする。

→野口幸作 庶務委員長：

書面表決だから意見を言えないというわけではない。代議員全員には賛成、反対の評決と、ご意見等があるかを送付して、それを回収しその結果の意見に対する回答を出して総会を進めているので、書面表決だから意見を言えないということではないということをご理解いただきたい。

第11地区：

特定費用準備資金及び資産取得資金の取扱いについては、来年度以降も検討を継続し、会員の総意を得られるようにしてほしい。資産取得資金積み立ての期間、会費の値上げは行わないよう意見があった。会費についても引き続き検討してほしい。

→篠原健一 会長：

前回の理事会でも申し上げた通り、今後もさまざま面で検討は継続していく。現状では、会費を上げるという要素は存在しない。

連絡事項

石田秀樹 将来検討委員長：

70周年の記念誌を発行することができた。皆さまのご協力を感謝する。

市川重司 教育前委員長：

例年開催されているフレッシャーズセミナーを本年度も5月15日と6月5日にWeb開催で行うので、各地区で参加を促していただくように広報をお願いする。各施設には依頼状を来週あたりに送付する予定である。参加された方には、テキストと用語集を進呈する。

第37回JCRTの監査も無事に終了した。皆さまのご協力を感謝する。

高野修彰 渉外委員長：

総会で表彰式を行っている関係で、今回も書面表決という形になるので、表彰式も簡易的にならざるを得ないが、各賞の代表者だけでも1名参加していただき表彰式を行いたいと考えている。今後の状況が分からぬので、その場で変わるかもしれないが、その時に候補者の方に連絡を取っていただくようなことがあるかもしれないが、ご協力をお願いする。

野口幸作 JART教育委員：

次の告示研修は5月21日、22日に労政会館で行う

予定であり、本日、担当の医師が決定したので、これから手続きを進めていく。資料等を作成したら配信させていただく。

浅沼雅康 編集委員長：

前回の理事会で、会告やお知らせなどの会誌掲載についてお話をしたが、今後、新任役員の方の研修会を行うという案が出ている。開催されるようならこちらで詳細な説明を行いたい。その間は個別対応をするので、原稿の雛形の要望や書き方を教えてほしいなどがあればメールをいただきたい。

竹安直行 情報委員長：

メーリングリストに新任の方を登録しているところだが、10日までは新任の方と旧委員長の方を入れておく。11日にメーリングリストのテスト配信を行うので、メールが届かなかった方は、鈴木理事に連絡をしてください。

→浅沼雅康 編集委員長：

編集委員会でも委員会から抜ける方がいるが、メンバーの削除はいつごろになるか。

→竹安直行 情報委員長

先に新委員長の登録から行いたいと思っている。委員の削除に関してはその後、順次進めていく。

鮎川幸司 第13地区委員長：

5月21日に告示研修のファシリテーターとして参加

するが、申し込み自体はいつ頃からか。

→野口幸作 庶務委員長：

これからいろいろな申請を行っていくため、まだ決まっていない。コロナの状況がどうなるか今後も不明なため、ずれこんでいくことが考えられる。申し込み開始のアナウンスはメール等でさせていただく。日程の広報に関してはしていただいて問題ない。

今後の予定について（総務委員会）

今月、4月26日に昨年度の事業の期末監査が行われる。総務委員会で皆さんに送っていただいた1年分の資料の確認を行っている。報告書の不備等があれば連絡をさせていただく場合があるので、ご協力をお願いする。

例年では、夏頃に新しい地区委員長、新しい理事を対象に役員研修会を行っていたが、コロナ禍のため、ここ数年できなかった。本年度は5月中旬頃にWeb開催もしくは事務所での役員研修会を考えている。決まり次第報告をさせていただく。新任の委員長だけに限らず、皆さんにもご参加をしていただきたいと考えている。

以上

公益社団法人東京都診療放射線技師会 研修会等申込書

研修会名	第 回	
開催日	令和 年 月 日() ~ 月 日()	
会員/非会員 (必須)	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員 <input type="checkbox"/> 一般 ※ 日放技会員番号(必須) [] <input type="checkbox"/> 新卒かつ新入会の方はチェック	
所属地区	第 地区 または 東京都以外 [] 県	
ふりがな		
氏名		
性別	<input type="checkbox"/> 男性 <input type="checkbox"/> 女性	
連絡先	<input type="checkbox"/> 自宅 <input type="checkbox"/> 施設 ⇒ 施設名 []	
	TEL (必須)	
	FAX	
	メール (PCアドレス)	
備考		

FAX 03-3806-7724
公益社団法人東京都診療放射線技師会 事務所

登録事項変更届

公益社団法人東京都診療放射線技師会 殿

公益社団法人日本診療放射線技師会 殿

会員番号			
氏名	印		
氏名(カタカ)			
性別	男性・女性		
生年月日	昭和	平成	年 月 日生
メールアドレス			

下記のとおり、登録事項の変更をお願い申し上げます。

□氏名の変更

改姓(変更後の氏名)

□送付先変更

現在の送付先	勤務先・自宅
新送付先	勤務先・自宅

□住所等の変更

新勤務先	勤務先名	部署
	勤務先所在地	〒 一
	電話	
旧勤務先		
新自宅	現住所	〒 一
	電話	
旧自宅住所		

□その他

通信欄	
-----	--

受付
確認令和 年 月 日
令和 年 月 日 印

Postscript

雨

男。最近になって、実は自分は雨に好かれているのではないかと感じてきております。というのも、あるスポーツのカテゴリーリーダーとおじさんチームのキャプテンを今年になって務めているのですが、なかなか天候に恵まれないのです。用意をすればするほど、気合を入れれば入れるほど雨模様……。思い返せば、修学旅行、小学校最後の運動会、初めてユニホームをもってベンチ入りした練習試合、新チーム副主将で臨んだ新人戦、彼女ゲットをもくろんで臨んだ高校最初の体育祭……気合を入れた日は雨でした。あれ、私は雨男なんじゃね……。そんなはずは!? ということで“雨男”とは何ぞやと、得意の“インターネットさん”でググってみました。

肝心な時に雨が降ってしまう人達は「雨男」や「雨女」と呼ばれています。しかし、それが科学的に立証されてきたことはなく、それを決定する指標はないようです。実際、海外にはこういった人を表す表現がないそうで、日本特有の表現となるそうです。雨男・晴れ男は、もちろん超能力のような特殊能力ではありません。仮に超能力が存在したと

しても、自分の周りだけ雨が降ったり晴れたりと、そんな人本当にいたらスプレー曲げどころの騒ぎじゃないですよね。

割合的にはどうでしょう、よく聞くのは晴れ男の方でしょうか。晴れ男は自称でしか聞きません。雨男の方は、“あいつ雨男だから”的なフレーズは聞きますよね。良いことは自分の所為で、嫌なことは人の所為ってことなんでしょうか。そう考えると、私の雨男問題はメンタリティのような気がしてきました。ポジティブな人は、いい思い出だけを優先して覚えているし、自分は他の人と違うと思いたいと。雨男はその逆。やはり、やりなれない環境でのプレッシャーから、逃げの姿勢を取っているからなのだと、編集後記を書きながら気が付きました。

最後に、実は高温多湿な日本という国では、統計すると3日に1回雨が降っている計算になります。そのため、たまたま雨続きなことも当然あり得ること。

ポジティブ雨男・雨女な編集委員募集中!!

雨でも結果を残す男、筋肉すぐる

■ 広告掲載社

富士フィルムメディカル(株)
コニカミノルタジャパン(株)
キヤノンメディカルシステムズ(株)
光製薬(株)

東京放射線 第69巻 第6号

令和4年5月25日 印刷 (毎月1回1日発行)

令和4年6月1日 発行

発行所 東京都荒川区西日暮里二丁目22番1 ステーションプラザタワー505号

〒116-0013 公益社団法人東京都診療放射線技師会

発行人 公益社団法人東京都診療放射線技師会

会長 篠原健一

編集代表 浅沼雅康

振替口座 00190-0-112644

電話 東京 (03) 3806-7724 <https://www.tart.jp/>

事務所 執務時間 月曜～金曜 9時30分～17時00分

案内 ただし土曜・日曜・祝日および12月29日～1月4日は執務いたしません

TEL・FAX (03) 3806-7724

編集スタッフ

浅沼雅康

岩井譜憲

森美加

高橋克行

田沼征一